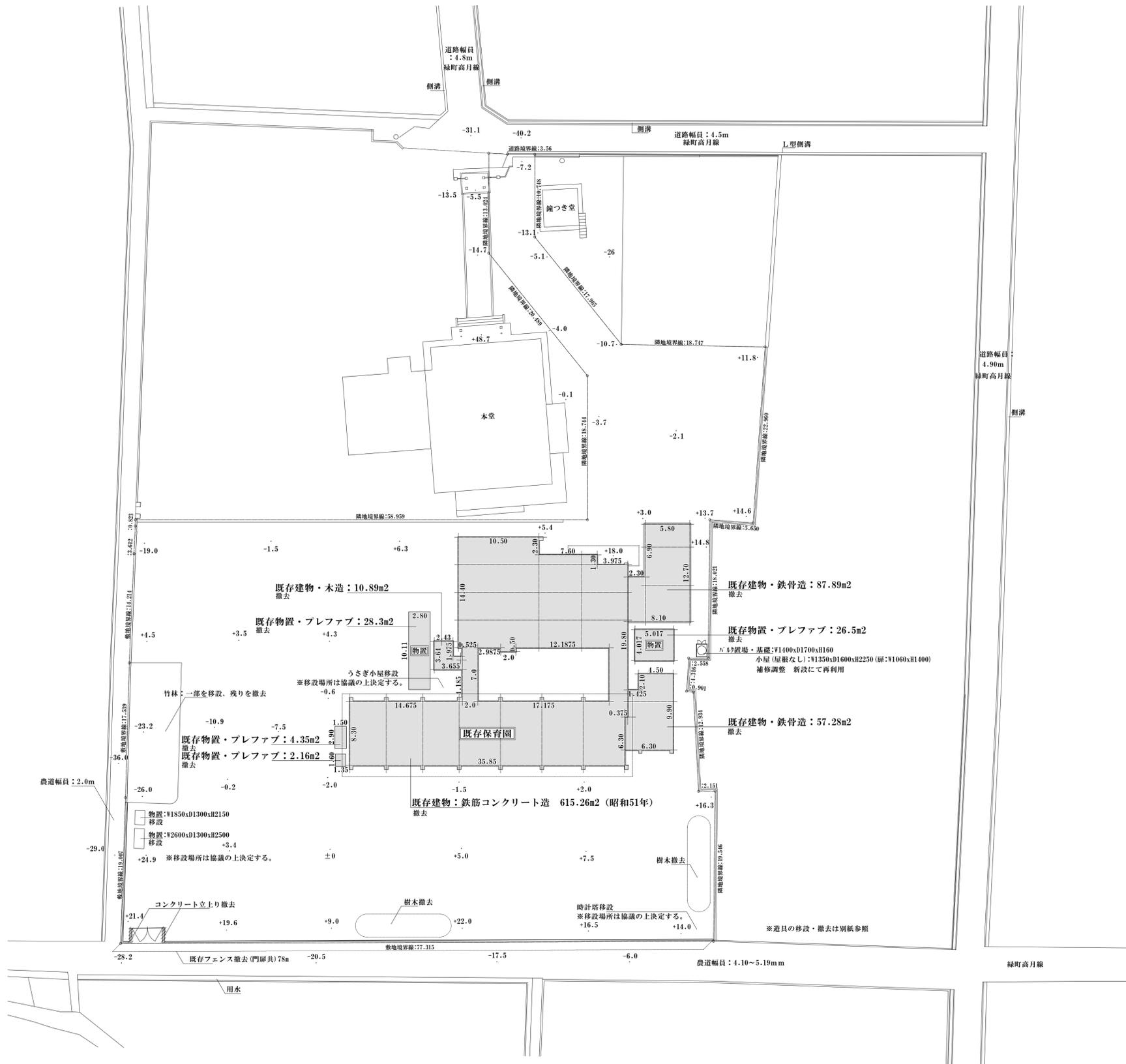


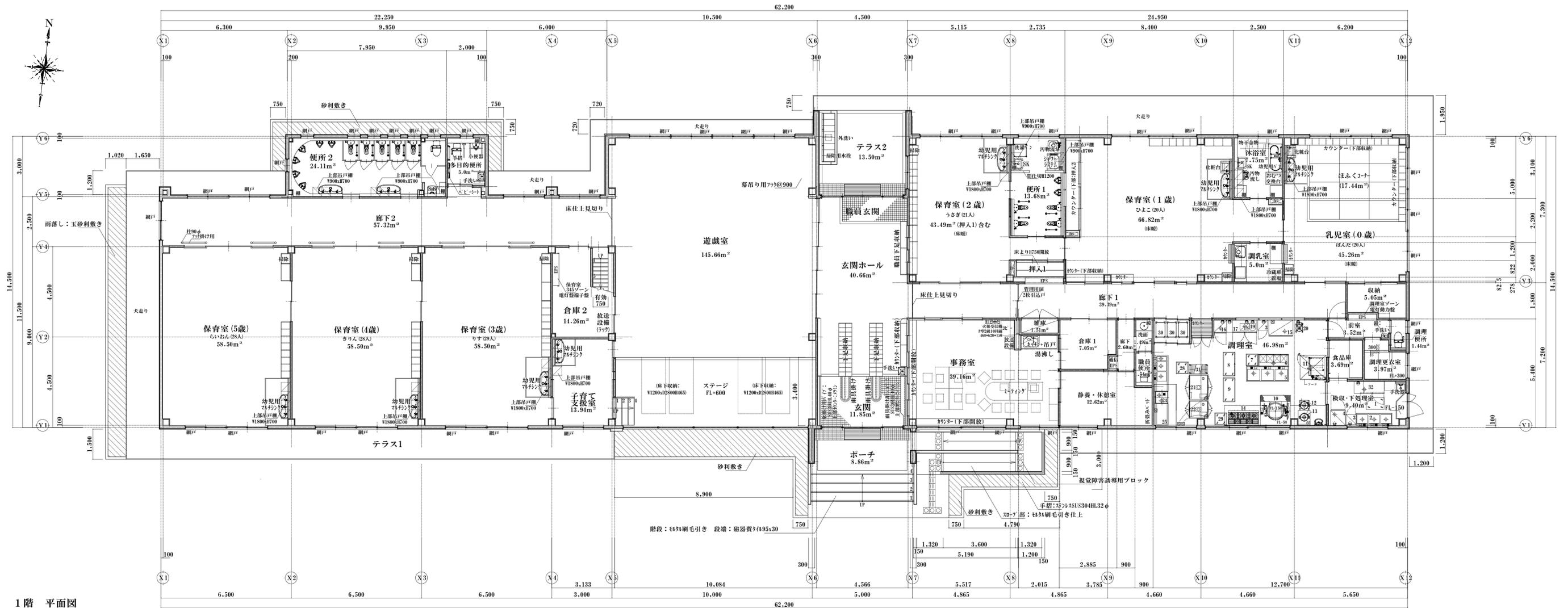
附近見取図



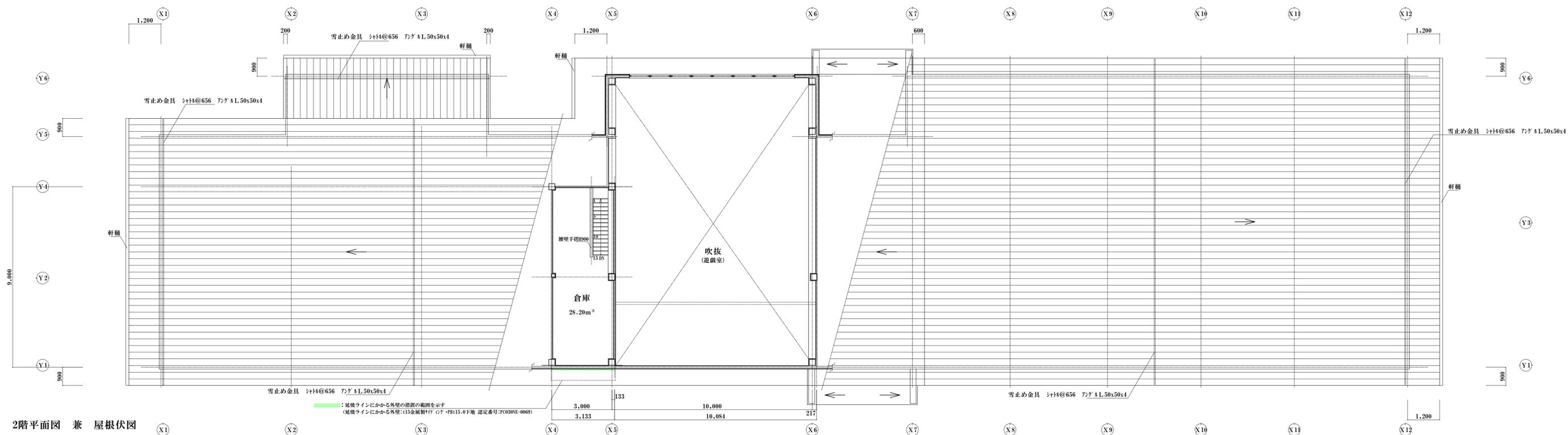
現況図 1:300

既存建物面積表		単位_m ²
既存建物	面積	
鉄筋コンクリート造	615.26m ²	
鉄骨造	87.89m ²	
鉄骨造	57.28m ²	
木造	10.89m ²	
プレファブ物置	28.30m ²	
プレファブ物置	26.50m ²	
プレファブ物置	4.35m ²	
プレファブ物置	2.16m ²	

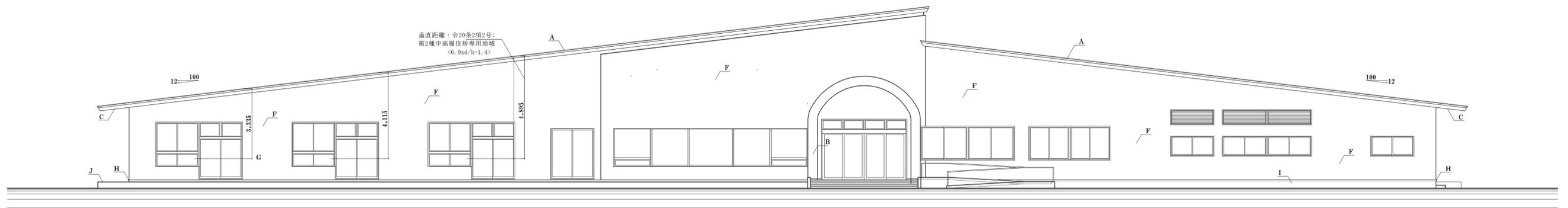
鉄筋コンクリート造	615.26m ²
鉄骨造	145.17m ²
木造	10.89m ²
プレファブ	61.31m ²
解体建物 合計	832.63m ²



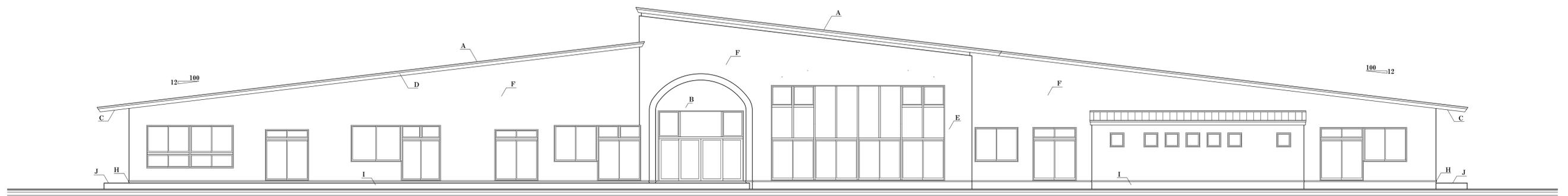
1階 平面図



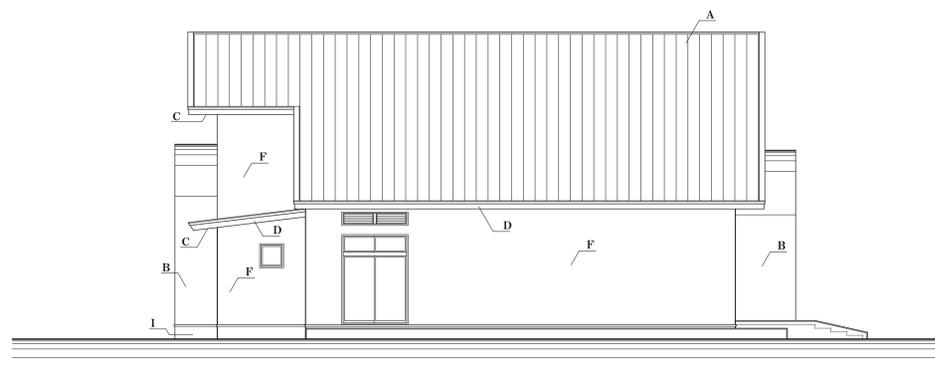
2階平面図 兼 屋根伏図



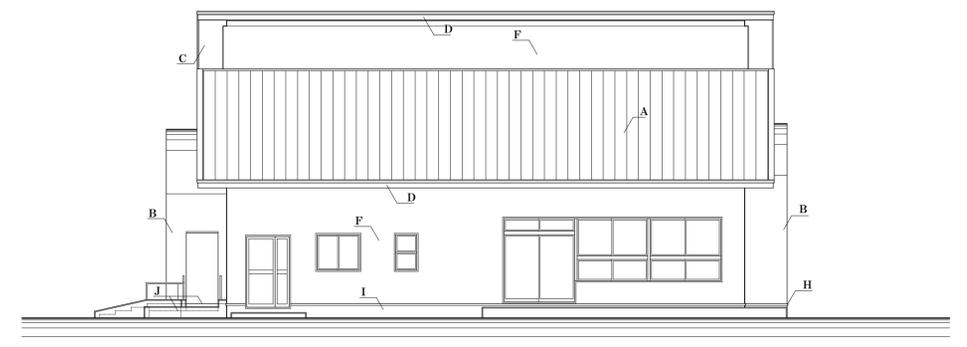
南-立面图



北-立面图



東-立面图

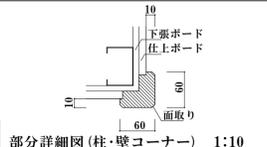


西-立面图

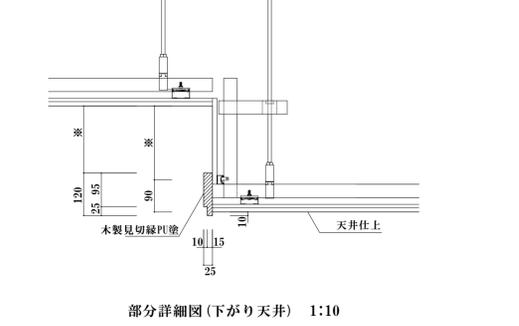
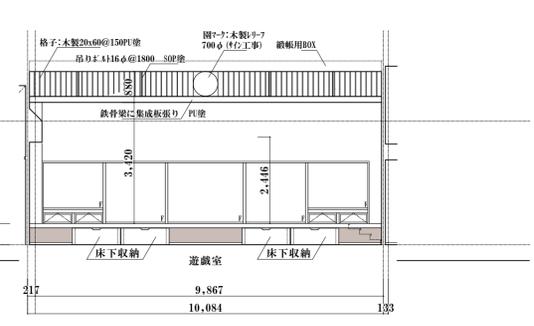
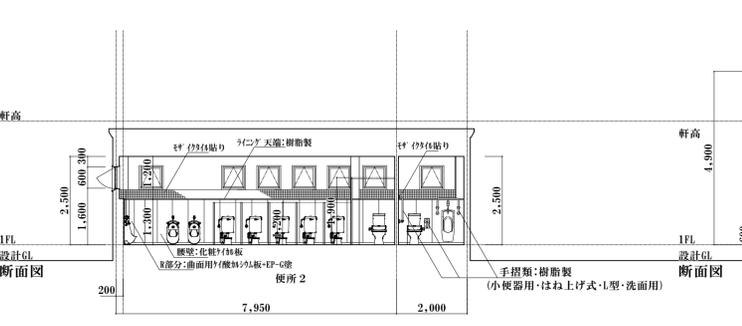
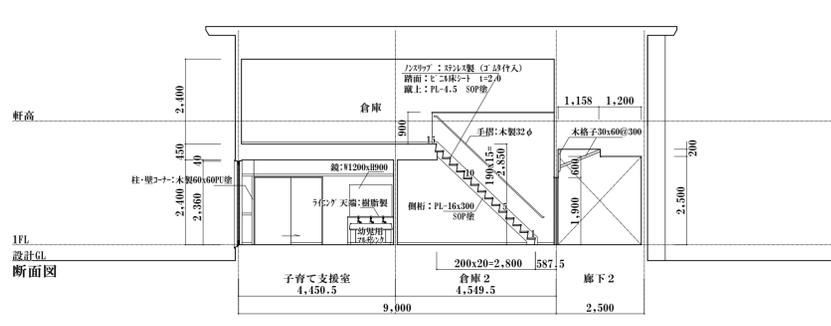
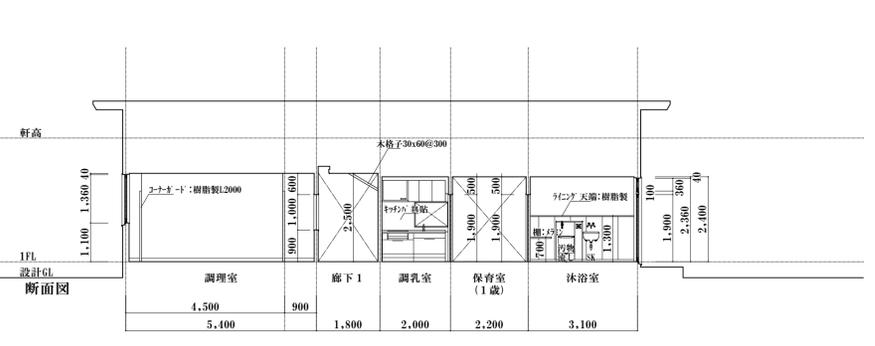
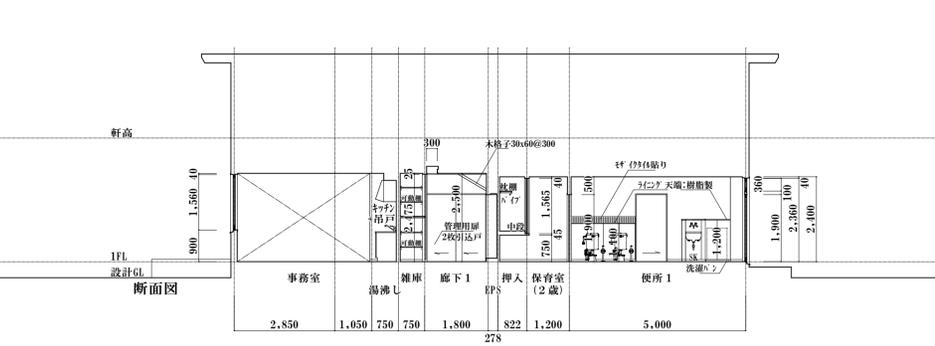
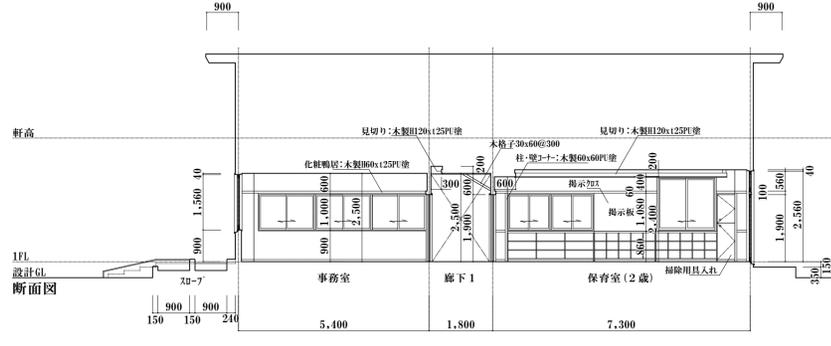
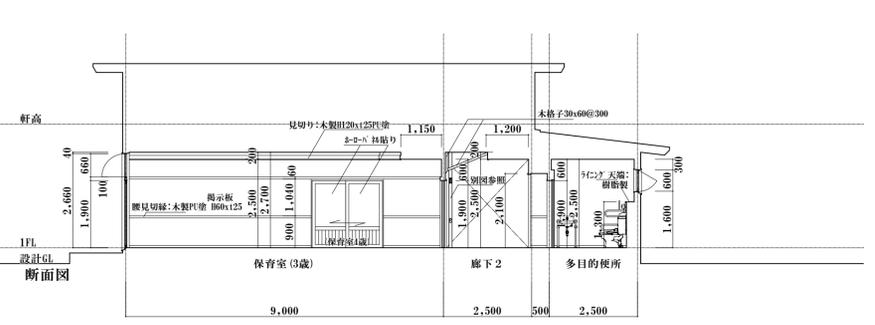
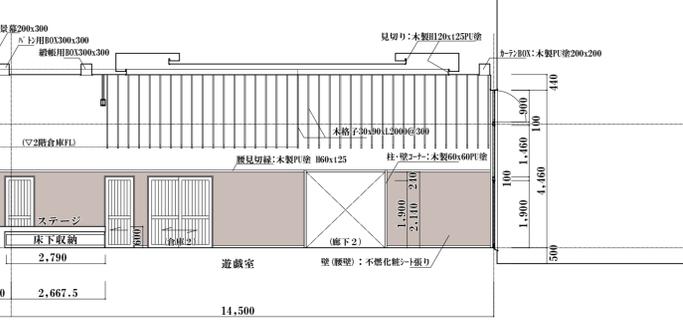
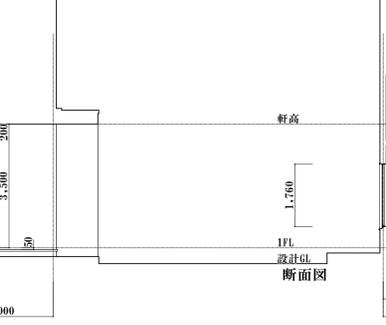
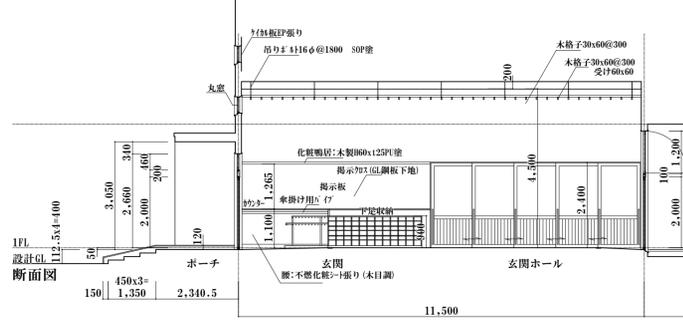
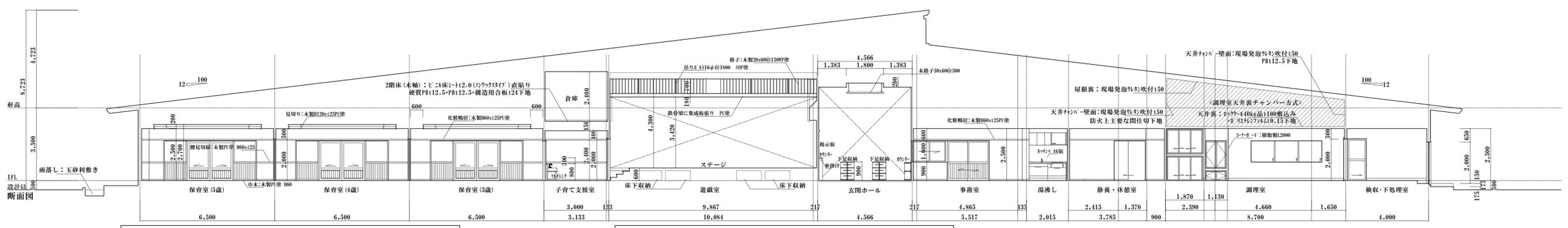
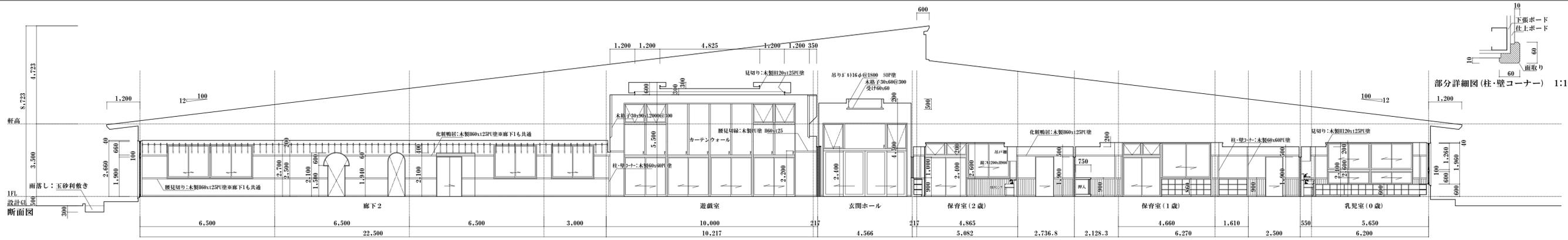
符号	仕上	符号	仕上
A	立平葺き：87-8' 5/8" 99%鋼板10.4 働き幅333 H25.6 金属屋根用制振 ϕ -12.0裏打ち品 (破風・鼻隠し：87-8' 5/8" 99%鋼板10.8 折曲加工)	G	-
B	立平葺き：87-8' 5/8" 99%鋼板10.4 働き幅333 H25.6 金属屋根用制振 ϕ -12.0裏打ち品 (1部外壁)	H	87-8' 5/8" 99%鋼板 10.8折曲加工 (水切)
C	9/16" 鋼板 16.0 EP塗 目隠し貼 (軒表)	I	2279-1打放し仕上 浸透性撥水剤塗布 (立上り)
D	87-8' 5/8" 99%鋼板 10.8折曲加工 (破風)	J	E491刷毛引き仕上・金こて仕上 (773・犬走り・3D-7 型)
E	-	K	2279-1金こて仕上
F	金属製4'x4' (15.0) (外壁)	L	S0F塗 溶融亜鉛メッキ下地 (鉄部・柱等)

■道路境界線からの高さ
法56条1項1号・別表第3
距離30m 数値1.25
※建物にかかる距離には斜線なし

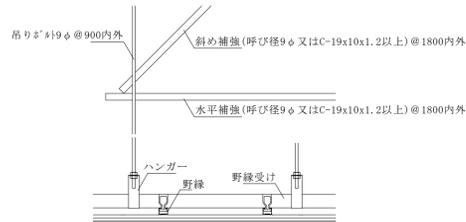
■隣地境界線からの高さ
法56条1項2号口
20m+1.25
※建物にかかる距離には斜線なし



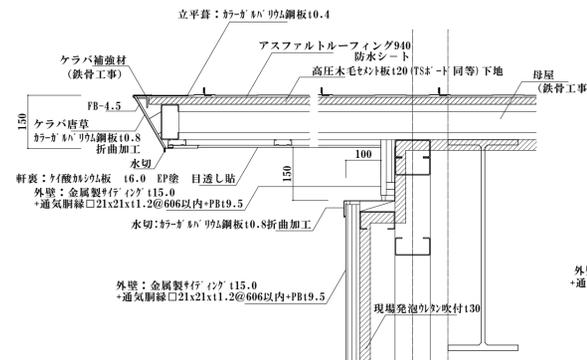
部分詳細図(柱・壁コーナー) 1:10



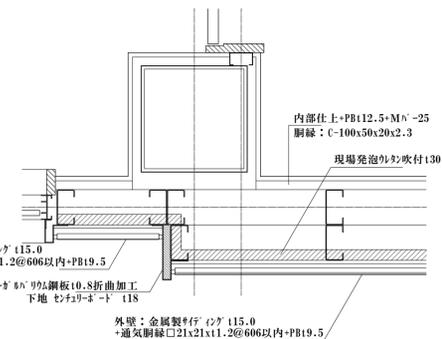
部分詳細図(下がり天井) 1:10



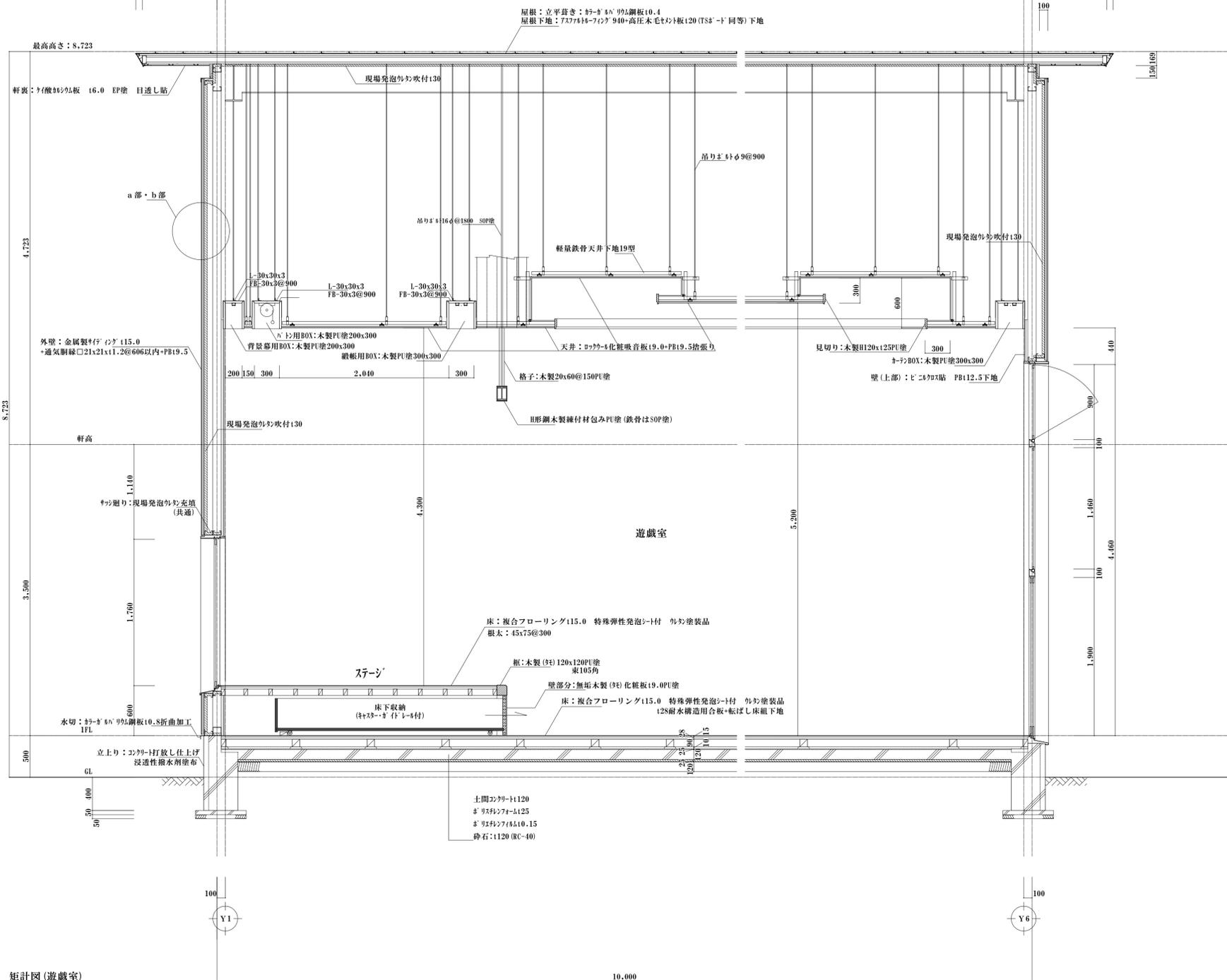
部分詳細図(天井下地振れ止め) 1:10
※天井ふとところの高い室共通



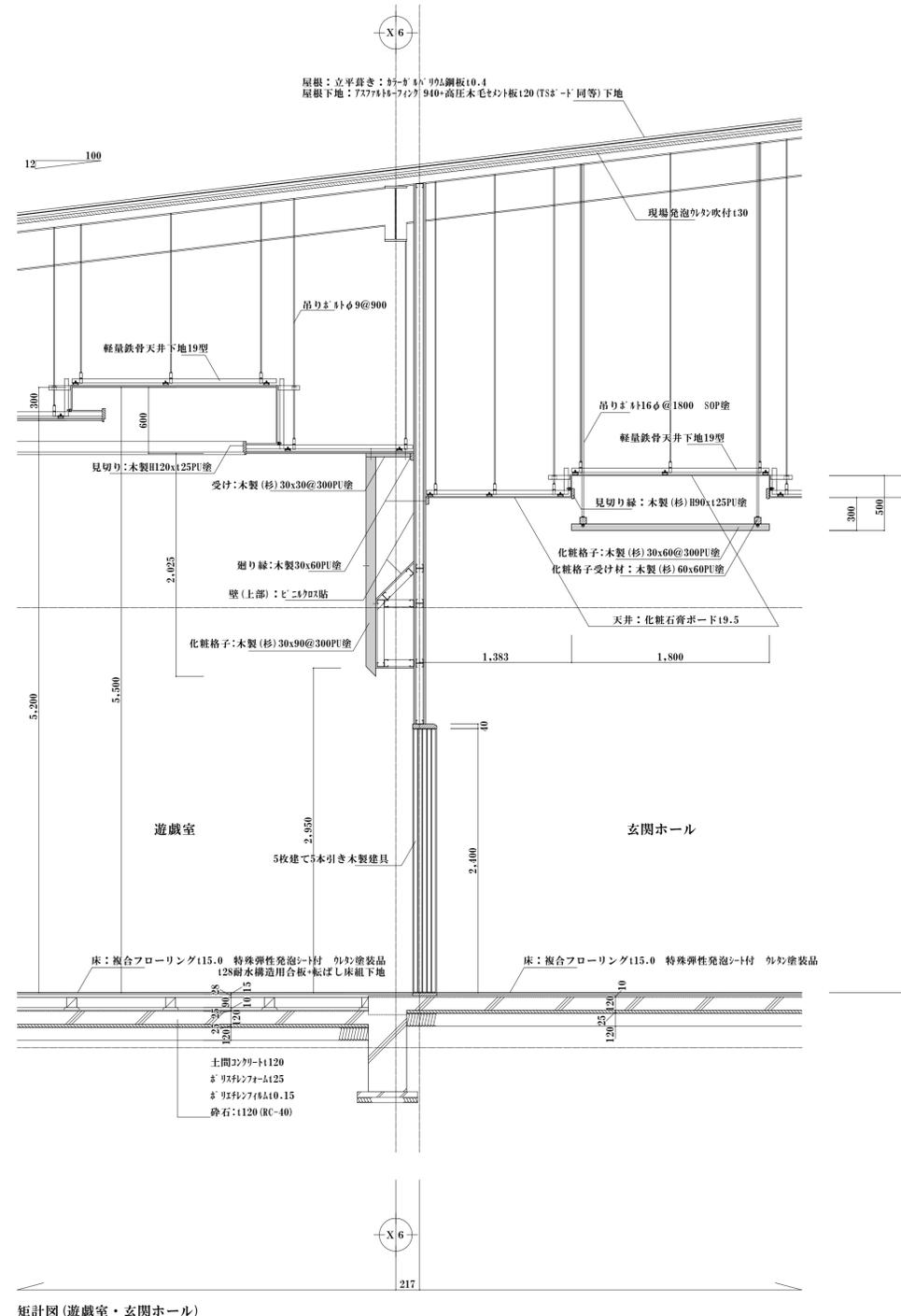
部分詳細図(a部)：軒先(ケラバ)・外壁(7か部分) 1:10(断面)



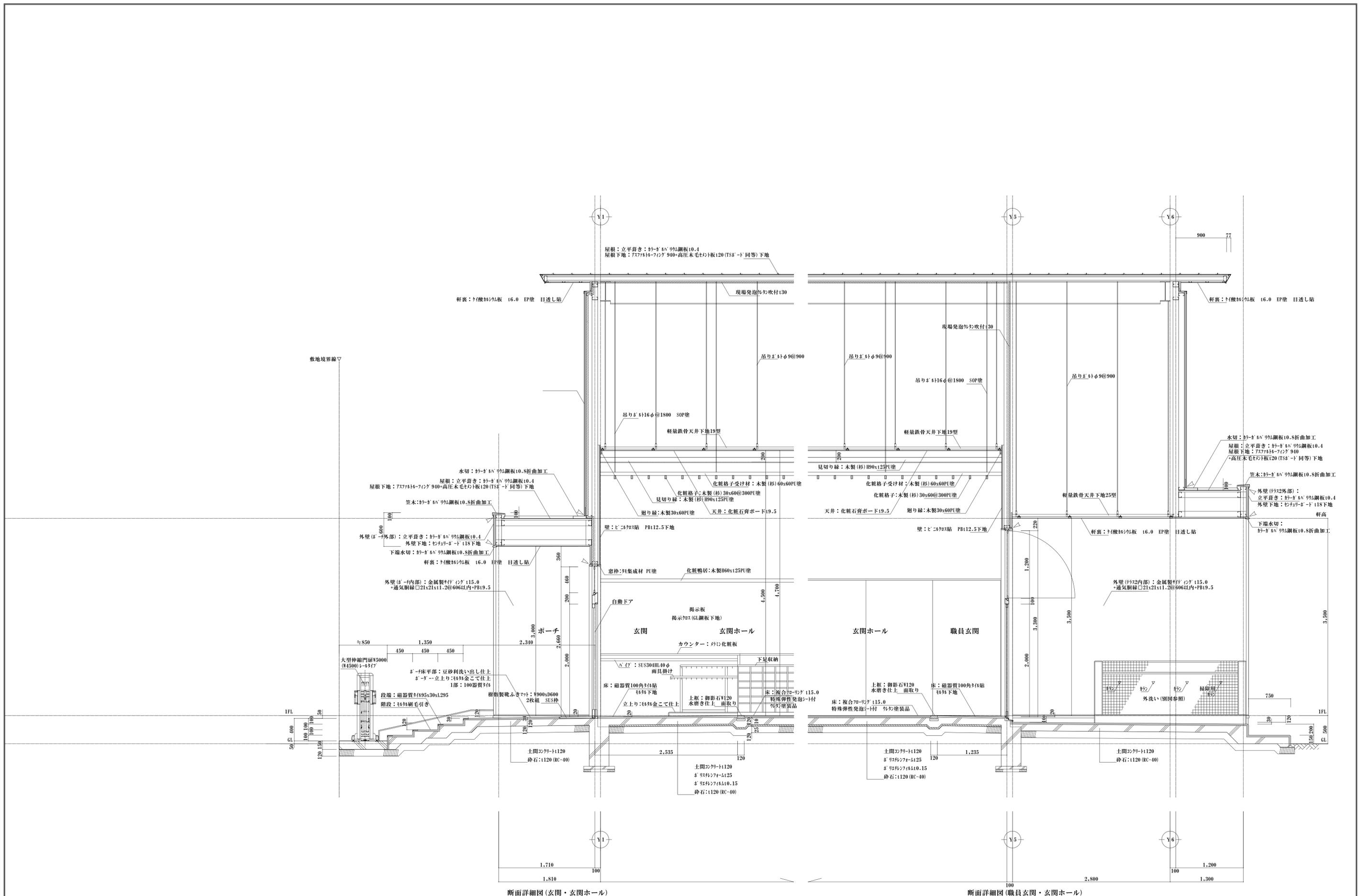
部分詳細図(b部)：外壁(7か部分) 1:10(平面)



矩計図(遊戯室)

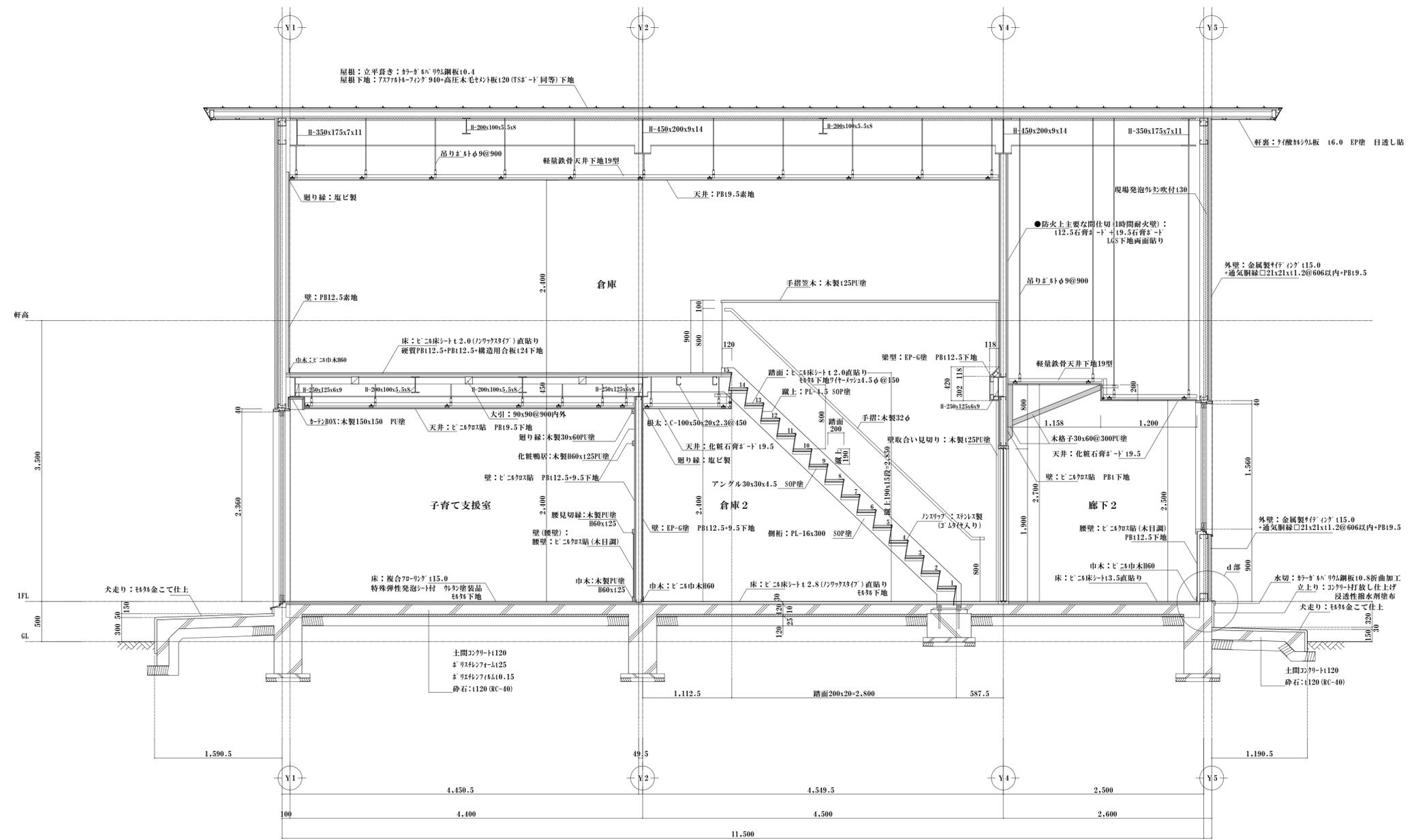


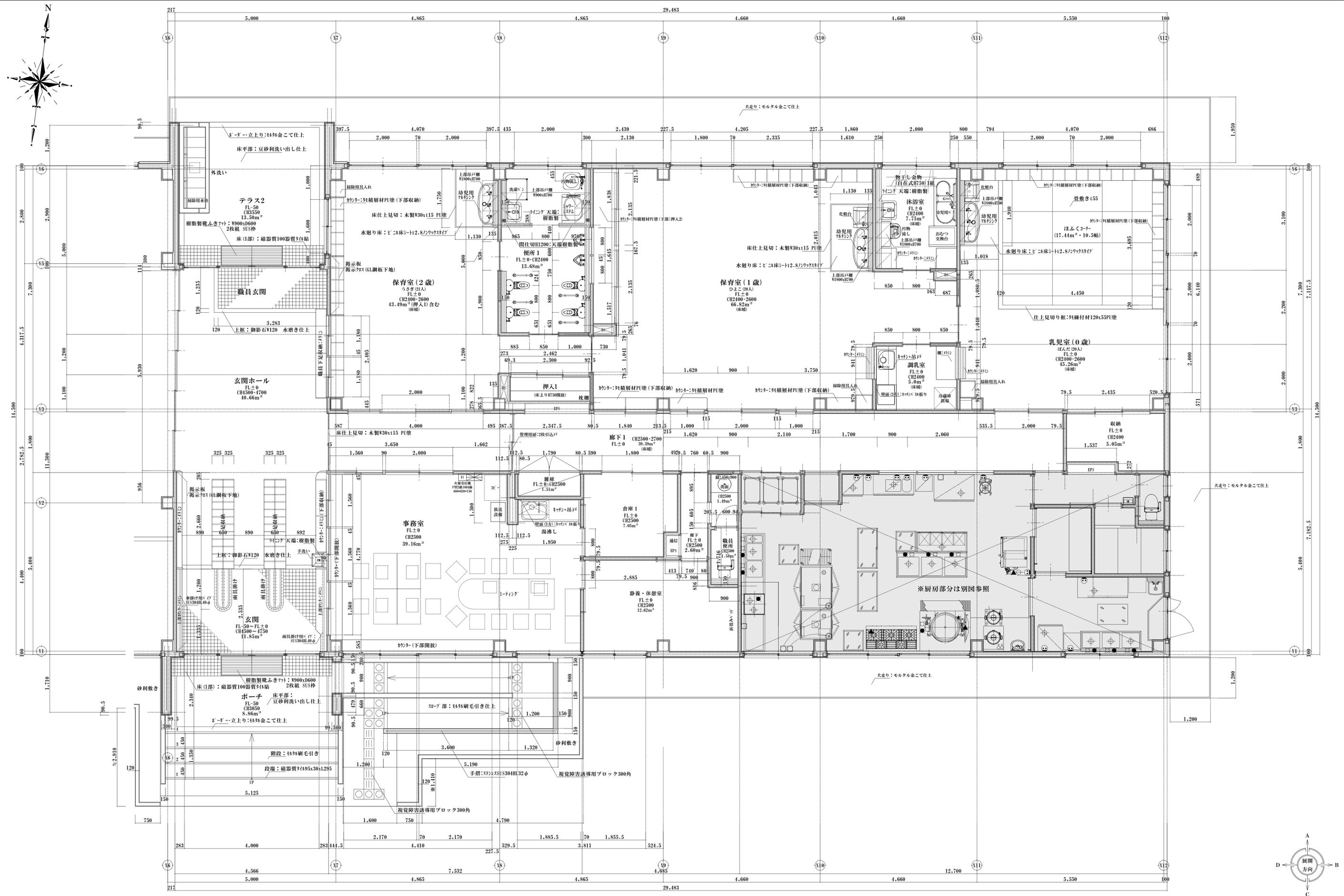
矩計図(遊戯室・玄関ホール)

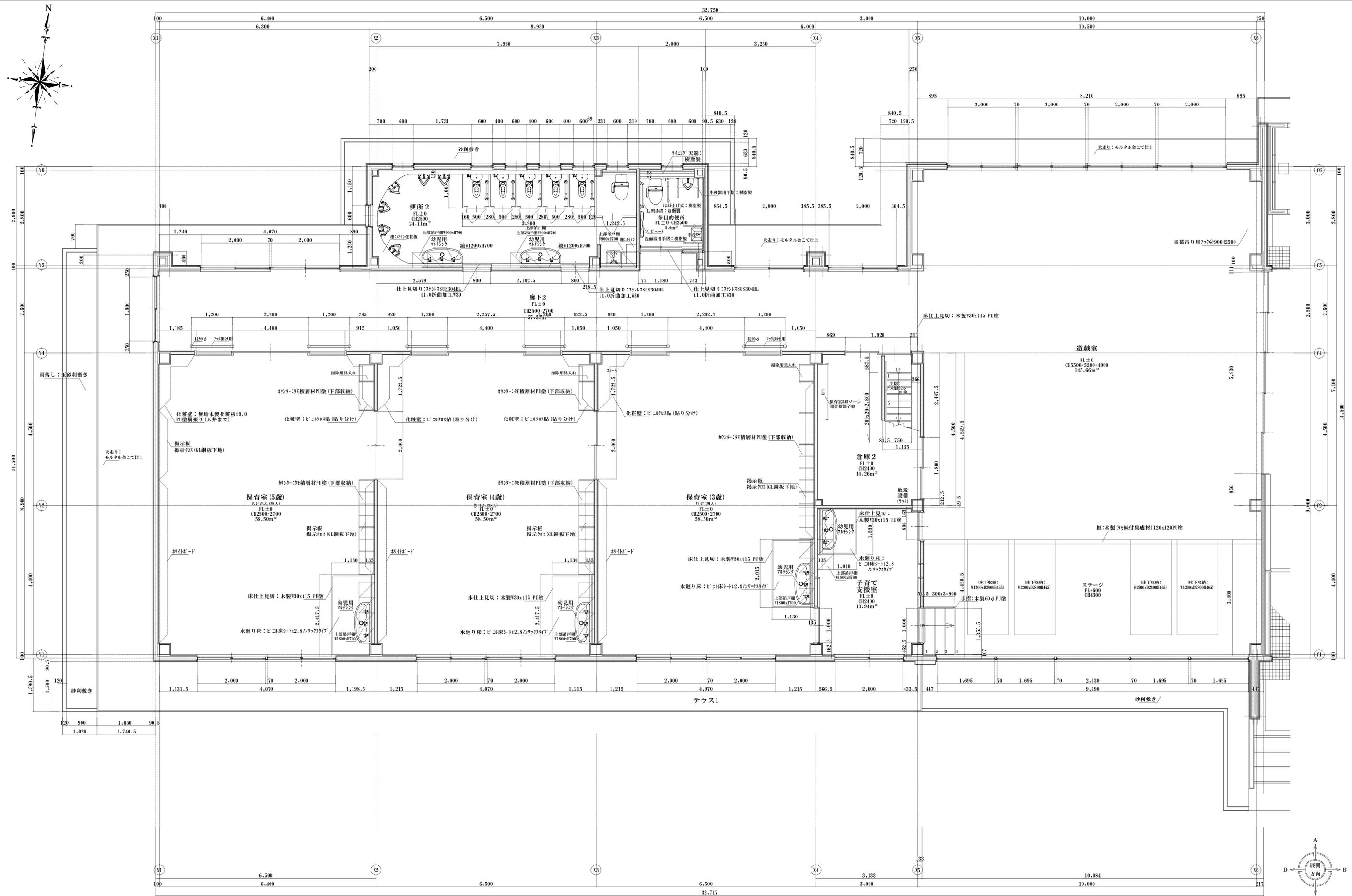


断面詳細図(玄関・玄関ホール)

断面詳細図(職員玄関・玄関ホール)







□ 一般事項
 本表は設計図に示す建具及び特記事項等を一括して表す。戸欄及びカウンターその他これに類する建具は詳細図に依るものとし、本表には含まないものとする。

□ 建具凡例

符号	材料	符号	材料	符号	材料
S S	スチール製シャッター	S S W	ステンレス製窓	W D	木製扉
L S	軽量シャッター	T P	トップライト	W W	木製窓
S W	スライディングウォール	A K	アルミ製 ｶﾞﾗｽ(ｸﾞﾗｽ)	F	ふすま
O D	オーバードア	A D	アルミ製扉	S	障子
S D	スチール製扉	A W	アルミ製窓	P	可動間仕切(ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ)
L S D	軽量スチール製扉	A G	アルミ製ガラリ	T B	トイレブース
S W	スチール製窓	G B	ガラスブロック		
S S D	ステンレス製扉				

□ 硝子凡例

符号	材料	符号	材料
FL_	フロート板ガラス _mm	Low-E_	高遮熱高断熱ガラス _mm
F_	型板ガラス _mm	Low-E_A_+TP_	ﾊﾞｸﾞﾗｽ(遮熱高断熱_mm+空気層_mm+強化_mm)
P H W_	網入磨き板ガラス _mm	Low-E_A_+FL_	ﾊﾞｸﾞﾗｽ(遮熱高断熱_mm+空気層_mm+ﾌﾛｰﾄﾞ_mm)
W K H_	網入型板ガラス _mm	FL_A_+FL_	ﾊﾞｸﾞﾗｽ(ﾌﾛｰﾄﾞ_mm+空気層_mm+ﾌﾛｰﾄﾞ_mm)
T P_	強化ガラス _mm	FL_A_+P H W_	ﾊﾞｸﾞﾗｽ(ﾌﾛｰﾄﾞ_mm+空気層_mm+網入磨_)
F R_	耐熱強化ガラス _mm		
F R M_	耐熱強化ガラス(不透明)_mm		

□ 仕様 (特記なき限り下記による)

項目	仕様	項目	仕様
A	目地棒	1	床仕上げの異なる場合
B	扉厚巾	2	床仕上げ高の異なる場合
C	建具枠巾	3	床面より上部につき場合
		4	外部出入口 内部水がかり部
		5	防音扉
		6	PS等点検口で床面につき場合
		7	PS等点検口で床面より上部につき場合

注) 材質は特記なき限りはステンレス製とする

□ 標準建具金物 (特記なき限り下記による)

開閉方式	支持類	施錠類	開り錠	備考
片開き	丁番3枚吊り	ｼﾘﾝﾀﾞｰ(ｲﾝﾈｰ)本締り錠	レバーハンドル	戸当り
親子開き	↑	↑	↑	戸当り・フランス落し
両開き	↑	↑	↑	↑
片開き	フックレール	↑	引手	戸当り
引き分け	↑	↑	↑	↑
引き違い	↑	↑	↑	↑
外倒し	隠し丁番	↑	-	排煙窓・ﾊﾞﾚｰﾄﾞ50°外倒し(共通)
とり出し	とり出し	レバーハンドル	-	開き角度調整装置

- 特記事項
- 建具の開き勝手は平面図及び平面詳細図による
 - 戸当りの取付け位置(床付、壁付)は現場指示とする
 - ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ引違い窓には特記なき限り(外部に面する部分に限る)可動網戸とする(合成樹脂網、枠は建具に準じ)
 - ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞのｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟは引違い窓と、網板には結露受けを付けることとする(仕上げは建具に合わせる)
 - サッシ方立・壁取付合はアルミFL-1.5面加工を入れる(仕上げは建具に合わせる)
 - 外部アルミサッシ、アルミガラリ等にはアルミ水切りを付ける(打放し部は打放し用及び建具に合わせる)
 - 煙感連動自動閉鎖扉には防煙用不燃性パッキン取付けのこと(上枠、堅枠の3方)
 - 煙感連動自動閉鎖装置は根詰めまでを本工事とし、作動電源送り込みまでを電気工事とする
 - 建築金物錠の材質はステンレスとする(ドアチェックは指定色付け塗装、オートヒンジは中心軸吊り式)
 - 錠は、既存のグランドマスターに合わせたマスターキーを作成し、キープランを決定すること。P S・E P S等、維持管理に使用する扉は共通キーとする。
 - キーボックスは必要な個数の入るものを事務室に設置
 - 外部建具、DS、PS、EPS等の枠廻りにはパッキン枠(4方)を取り付ける
 - 軽量ｶﾞﾗｽ製扉は表面材(化粧鋼板 0.8)芯材(ﾊﾞｰﾈｰ)にｶﾞﾗｽ部分にはﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞを取り付けるものとする
 - 外部建具及び水切り部建具の枠廻りはシリコン系シーリング材とする
 - 建具のｶﾞﾗｽは引違い窓は引違い窓とする。外部出入口開き引違い錠使用箇所は、解錠表示板を設ける
 - 排煙窓ﾊﾞﾚｰﾄﾞの操作ボックス、配管は共に取付位置及びサッシ枠位置と一致する操作ボックスカバーはステンレスH L仕上げとし、FL=800±1,500(クレセントはFL=1,500以内)に取り付けるものとする(ﾀｲﾌﾟ全等品)
 - 外部ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ建具の性能は耐風圧 S-2(1200Pa)、気密性 A-4、水密性 W-5(500Pa)以上とする
 - アルミサッシには標準附属金物一式を取り付けるものとする
 - 各室の引違いサッシ部のクレセントは錠付きとする

■カーテン・ブラインド仕様

- カーテン・暗幕は2倍ヒダとする。
- カーテン・暗幕は防炎加工品とする。
- 表中記入寸法は開口部内法寸法を示す。
- 特記無き限りカーテンレールはC型(アルミ製)とする。
- 全ての工作図・見本を提出の上、監督員の承認を得て製作に着手する事。
- 寸法は現地にて再確認の上、間違い無きよう取付の事。
- 参考メーカー：サンゴフ、シンコー、東リ又は全等品
- 特記無き限り、全てタセルバンドはカーテンに隠し付けとする。
- 特記なき限り、カーテンレールは全てシングルとする。
- ﾌﾗｲﾄﾞ新設箇所：既存引違いBOX (11.6ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ加工) 再利用 既存引違い撤去とする。

h (現場合わせ)

①：引違いBOX無 天井直付743引違い新設
 ②：木製引違いBOX 内寸法W150×H150
 ③：743引違い引分け 重ね代150

□特記・凡例

符号・室名・数量	AW-22 遊戯室 1	AD-1 玄関 1	AD-2 職員玄関 1	AD-3 検収・下処理室 1
姿 図				
形式・見込	外倒し排煙窓・FIX窓付 引違い窓(スチール補強入り)	4連外倒し排煙窓付き引き分け自動ドア	外倒し排煙窓・FIX窓付引き分けドア	親子開き扉
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
仕 上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上
硝 子	Low-E5.0+A6+TP4.0・Low-E5.0+A6+TP5	Low-E5.0+A6+TP4.0 ラｯﾌﾟ：Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	F4.0K+A6+FL5.0
金 物	隠蔽排煙ﾊﾞﾚｰﾄﾞ、水切、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ(11500)、戸車、引手、3方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、その他標準取付金物一式	3方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、ｽﾗｯﾄﾞ設置、開閉感知ﾓｰﾀｰ(ﾀｲﾌﾟ式)、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾀｲﾌﾟ錠、SUS下枠ﾊﾞﾚｰﾄﾞﾊﾝﾄﾞﾙ、引手(ｺﾝﾈｯﾄ:T2092-36-201-L-R同等)、指詰め防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	3方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、ｽﾗｯﾄﾞ設置、開閉感知ﾓｰﾀｰ(ﾀｲﾌﾟ式)、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾀｲﾌﾟ錠、SUS下枠ﾊﾞﾚｰﾄﾞﾊﾝﾄﾞﾙ、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、引手(ｺﾝﾈｯﾄ:T2092-36-201-L-R同等)、戸先ﾓｯｸ、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	ﾊﾞｰﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾀｲﾌﾟ錠、3方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾌﾗﾝｽ落し、SUS丁番、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)
備 考	網戸、一部：硝子面化粧743貼、排煙窓は60°開放とする ※大型D-43ｸﾞﾗﾝﾄﾞ(遮光1級)	開錠表示、一部：硝子面化粧743貼、排煙窓は90°開放とする	開錠表示、一部：硝子面化粧743貼、排煙窓は90°開放とする	

符号・室名・数量	AD-4 前室 1	AD-5 食品庫 1	AD-7 調理室(配膳室) 2	AD-8 調理室 1
姿 図				
形式・見込	ガラリ付片開きドア	ガラリ付片開きフラッシュ戸	3枚引違い戸	両開き扉
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
仕 上	シルバー	シルバー	シルバー	シルバー
硝 子	FL5.0	FL5.0	ボリカ板(透明) 15.0	FL5.0
金 物	ﾊﾞｰﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾀｲﾌﾟ錠、SUS丁番、SUS番指、DC、その他附属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	SUS引手、戸車、SUS-4、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾀｲﾌﾟ錠、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、その他附属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	SUS-4、戸車、戸先ｺﾞﾑ、ｽﾀｯｸ、引手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	引手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS丁番、SUS番指
備 考		その他附属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	3(4)方額縁、その他附属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	その他附属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)

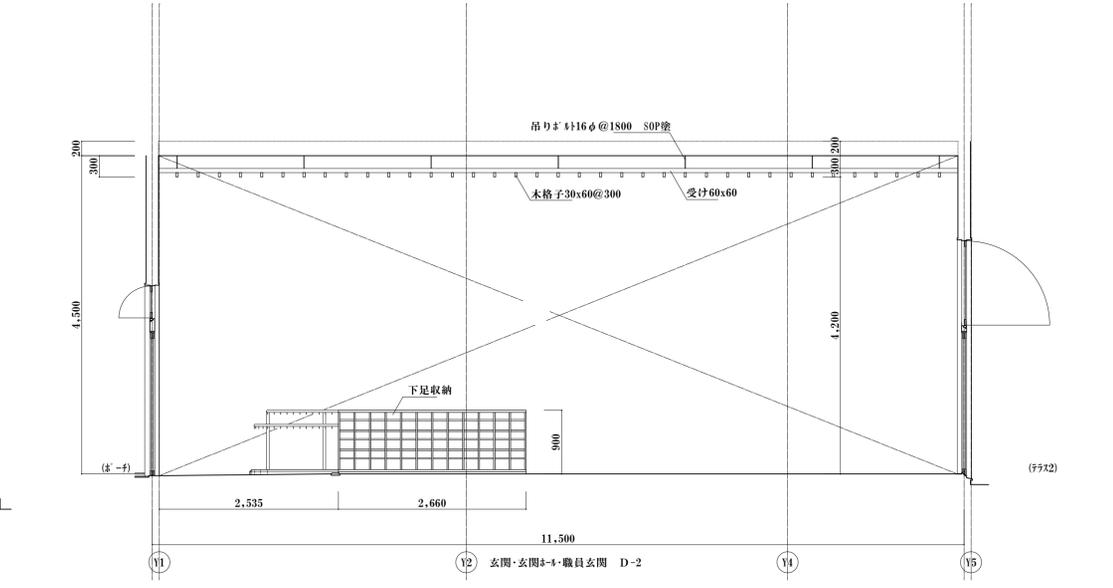
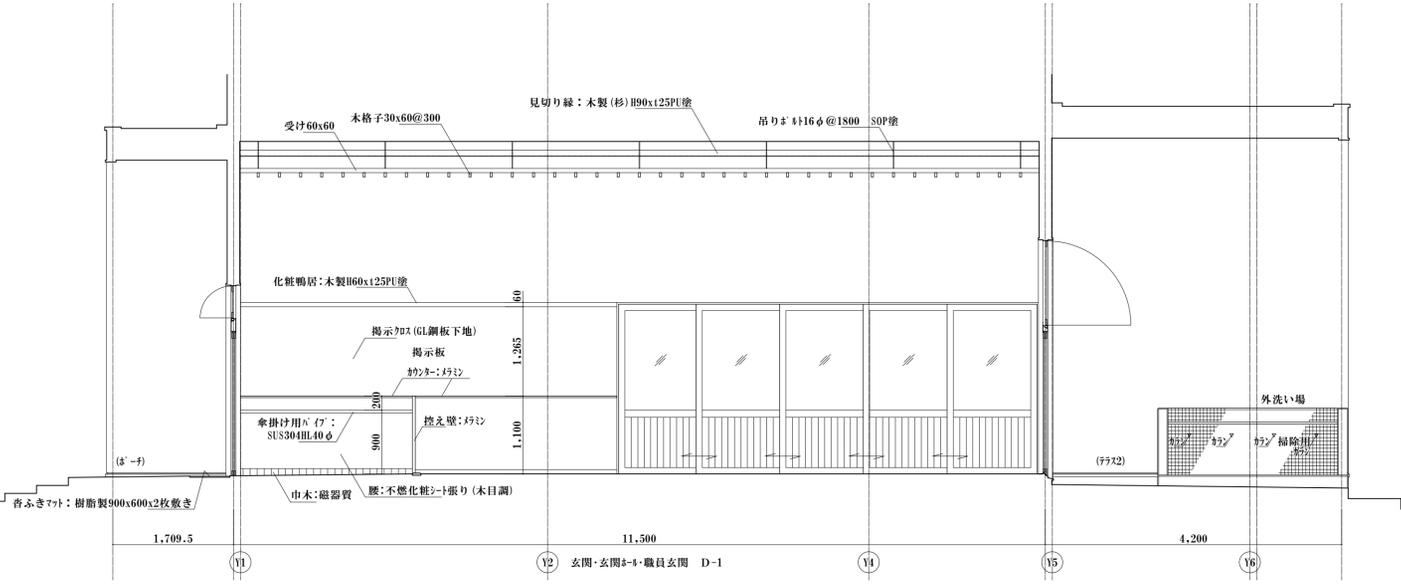
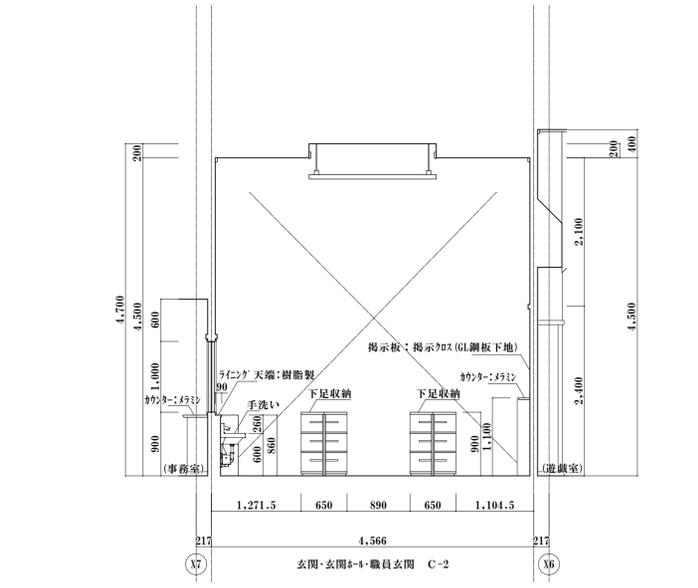
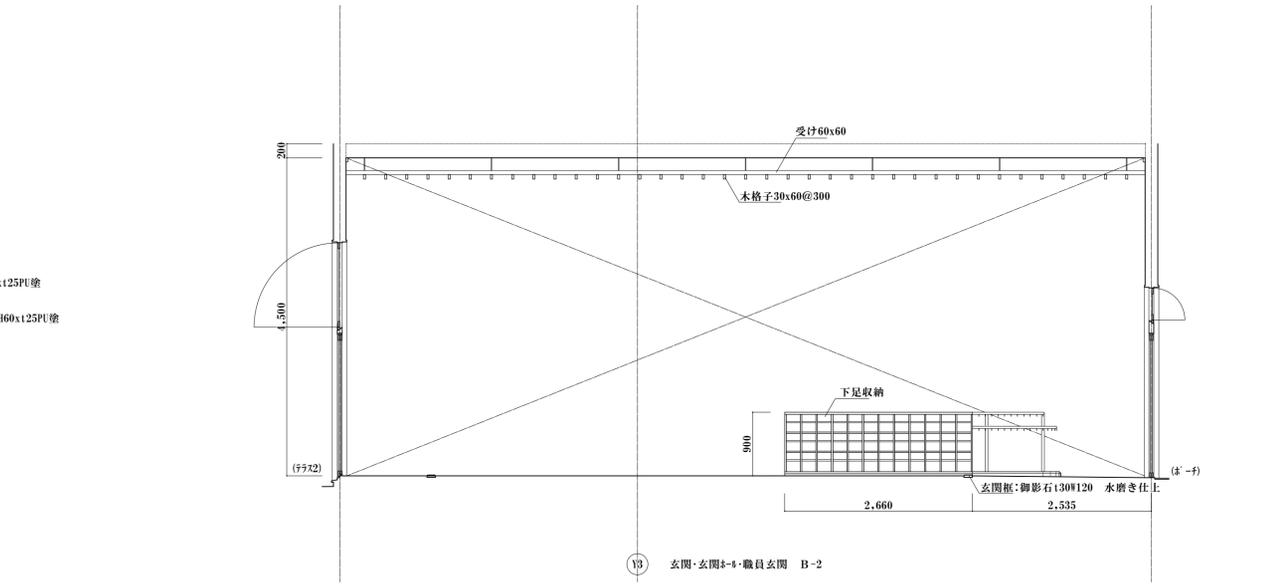
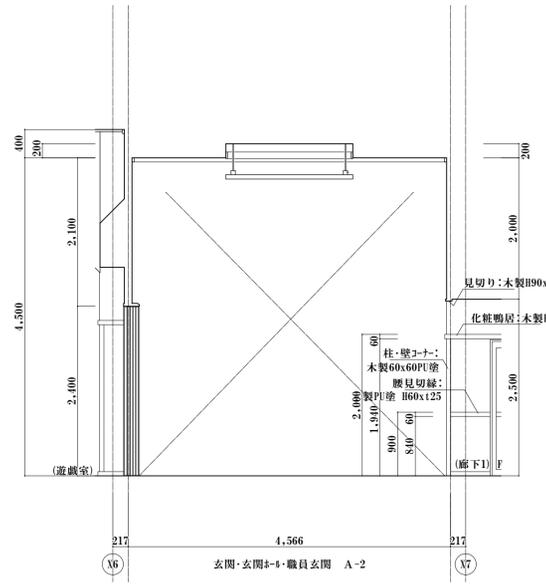
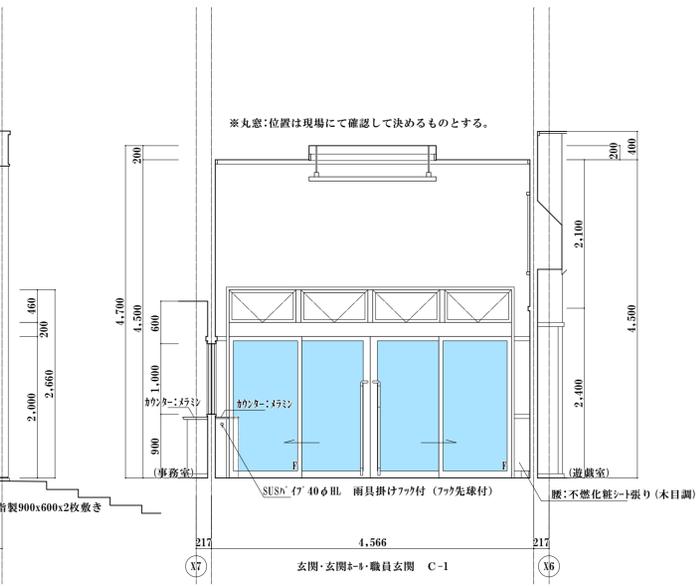
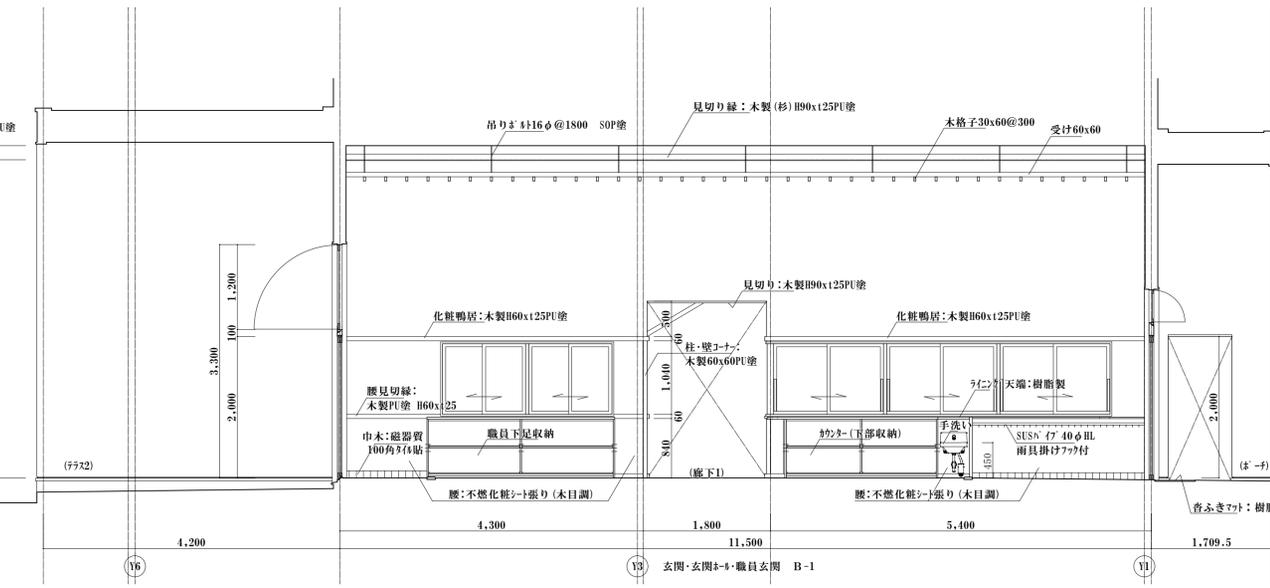
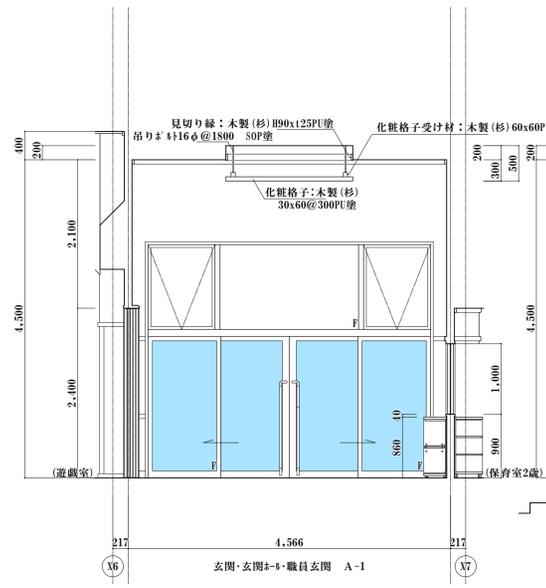
符号・室名・数量	AW-1 事務室 1	AW-2 静養・休憩室 1	AW-3 調理室 1	AW-4 調理室 検収・下処理室 2	AW-5 調理更衣室 1	AW-6 調理便所 1
姿 図						
形式・見込	2連引違い窓	2連引違い窓	2連引違い窓	引違い窓	引違い窓	オーニング窓
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製
仕 上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上
硝 子	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP4.0・Low-E5.0+A6+TP4.0K	Low-E5.0+A6+TP4.0K	Low-E5.0+A6+TP4.0K	Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E3.0+A6+TP4.0K
金 物	引手、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、戸車、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、743水切、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	引手、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、戸車、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、743水切、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	引手、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、戸車、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、743水切、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	引手、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、戸車、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	引手、ｸﾞﾗﾝﾄﾞ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、戸車、指挟み防止ｽﾄｯﾌﾟ、戸先ﾓｯｸ、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)	ﾊﾝﾄﾞﾙ、4方ｱｸｼｽﾄｯﾌﾟ、障子ｱｰﾑ、その他付属金物一式(ﾀｲﾌﾟ仕様)
備 考	網戸	※ロールブラインド	網戸	網戸	網戸	網戸

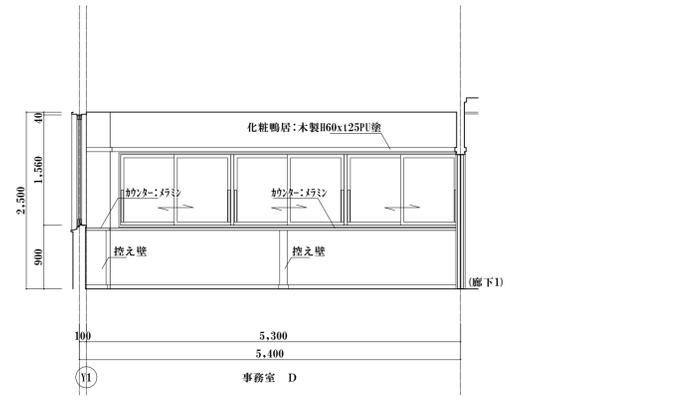
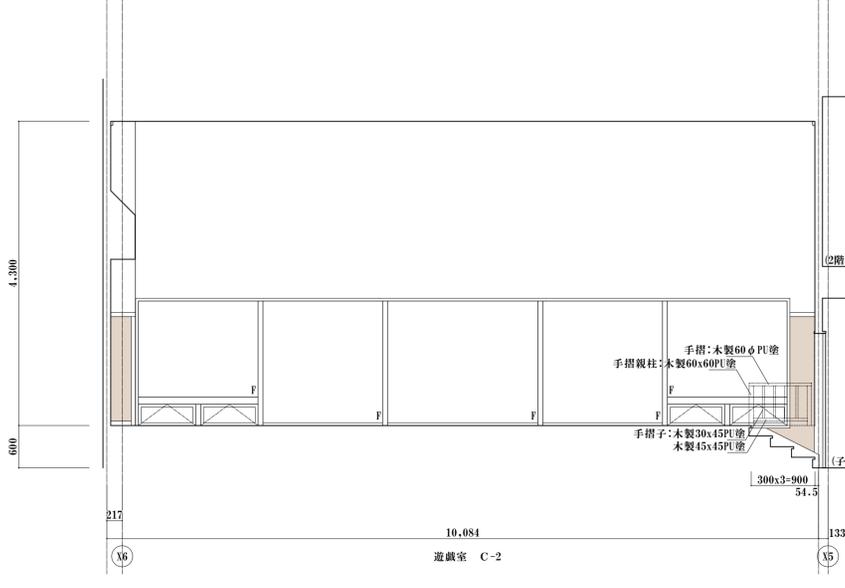
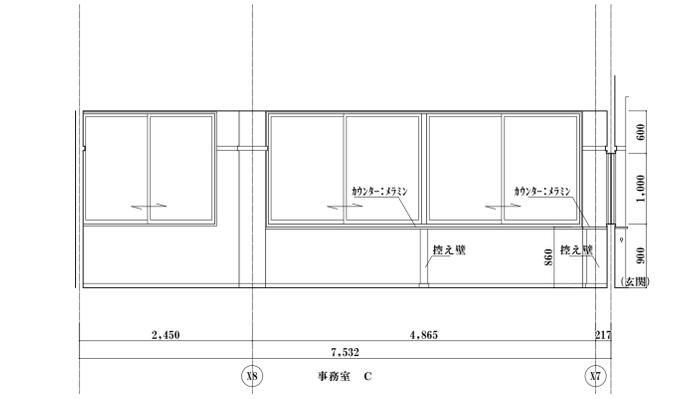
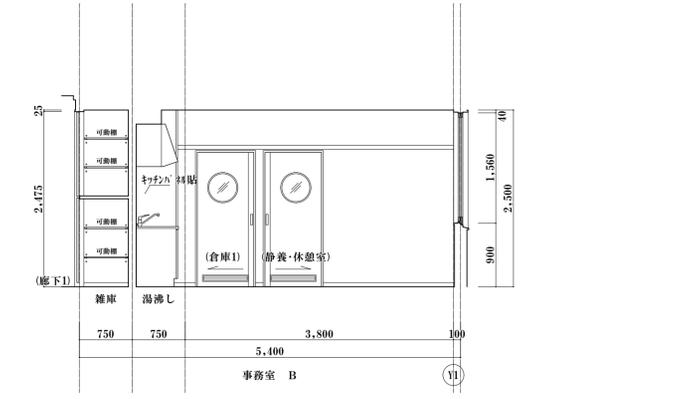
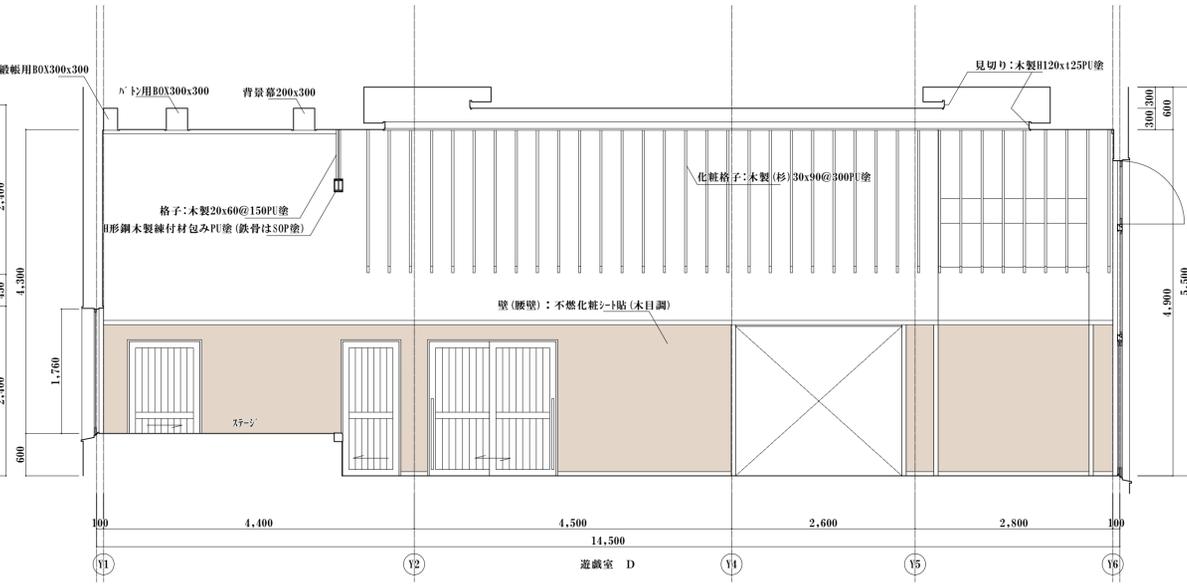
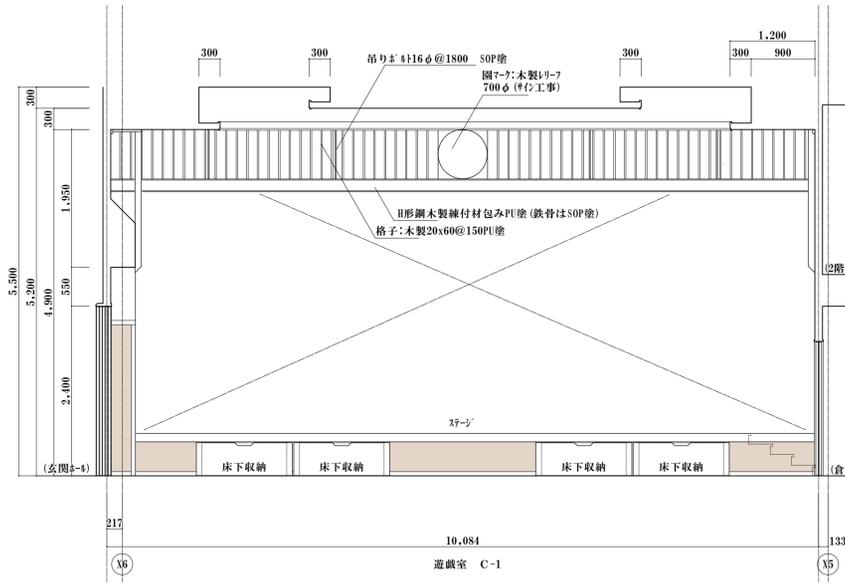
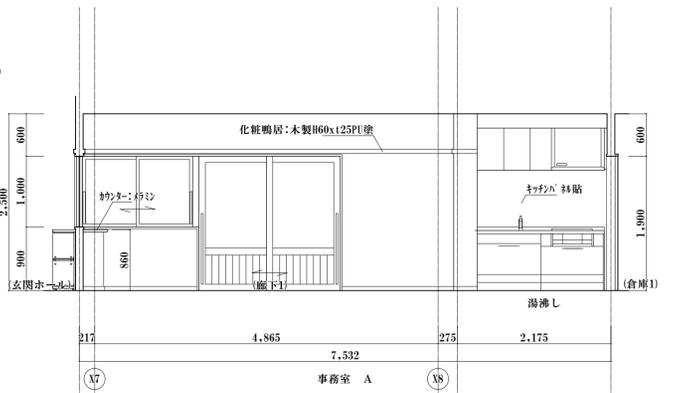
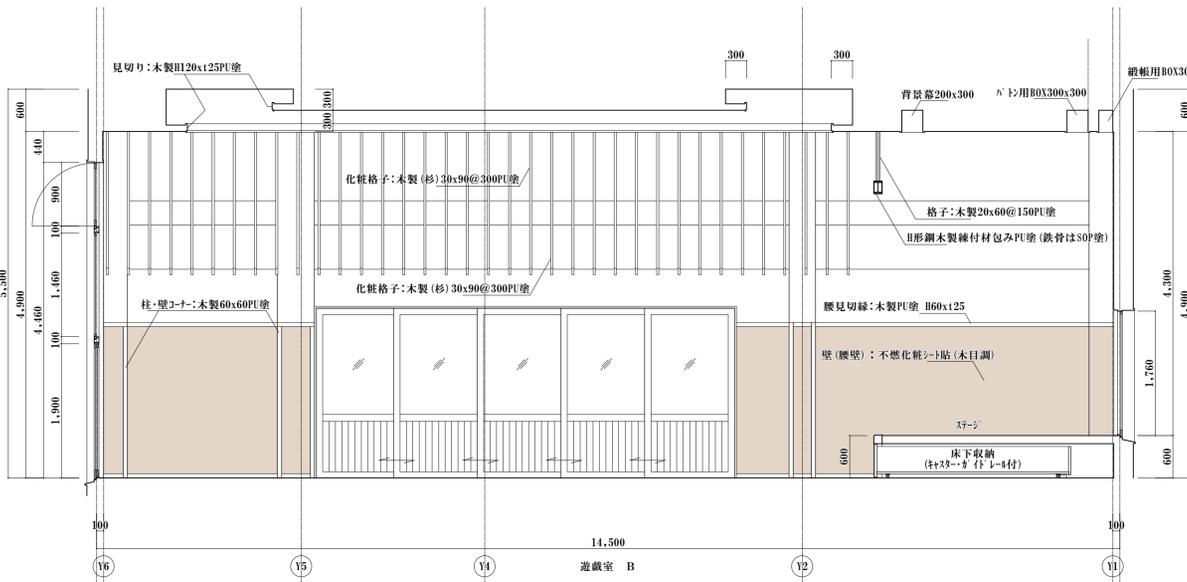
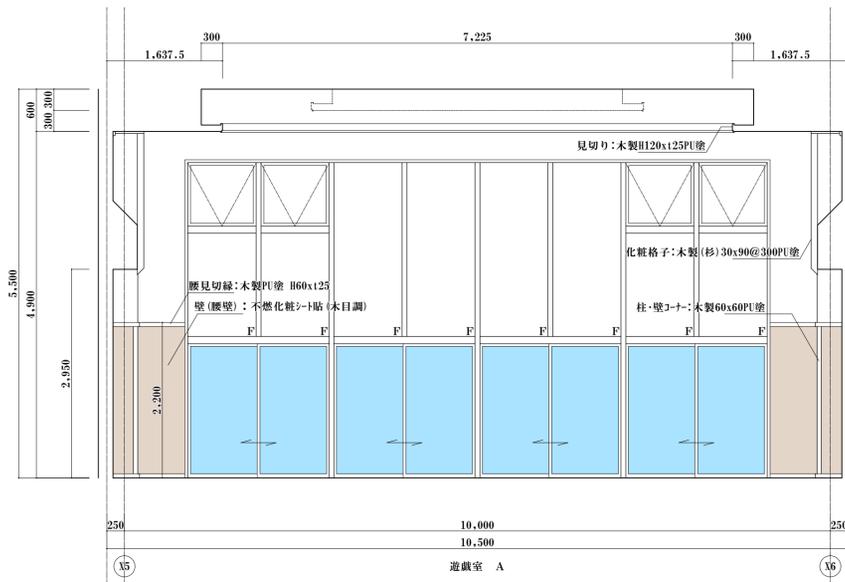
符号・室名・数量	AW-7 乳児室(ほふくコーナー) 1	AW-8 乳児室(ほふく室) 1	AW-9 沐浴室・便所1 1	AW-10 AW-10-2 保育室(1歳) 1 保育室(2歳) 1	AW-11 廊下2 1	AW-12 廊下2 1	AW-13 便所2 8	
姿 図								
形式・見込	2段2連引違い窓・ラマ付引違い長戸 70	2段2連引違い窓 70	ラマ付引違い長戸 70	2連外倒し排煙窓付引違い長戸・引違い窓 70	引違い窓 70	ラマ付引違い長戸 70	突出し窓 70	
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	
仕 上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	
硝 子	Low-E5.0+A6+TP4.0 ラマ:Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP4.0 ラマ:Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0 排煙窓:Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	
金 物	引手, 丸セト(2箇所), 3(4)方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3(4)方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 4方7&377&も, 戸車, スリッパ, ハンカチホルダー, 7&377&水切, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 戸先ワック, 指挟み防止ストッパー, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 戸先ワック, 指挟み防止ストッパー, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 7&377&水切, その他付属金物一式(※-B仕様)	4方7&377&も, ハンカチホルダー, 突出しアルミ, 丁番, コーナキャップ, 7&377&水切, その他付属金物一式(※-B仕様)
備 考	網戸 ※カーテン	網戸 ※カーテン	網戸	網戸(引違い窓) ※カーテン	網戸	網戸	網戸	
符号・室名・数量	AW-14 廊下2 1	AW-15 廊下2 1	AW-16 保育室(3-4歳) 3	AW-17 子育て支援室 1	AW-18 遊戯室(ステージ) 1	AW-19 保育室(2歳) 8		
姿 図								
形式・見込	引違い窓・ラマ付引違い長戸 70	ラマ付引違い長戸 70	2連外倒し排煙窓付引違い長戸・引違い窓 70	引違い長戸 70	突出し窓付FIX連窓 70	引違い窓 70		
材 料	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製	アルミ製		
仕 上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上		
硝 子	Low-E5.0+A6+TP4.0 ラマ:Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP4.0 排煙窓:Low-E3.0+A6+FL3.0	Low-E5.0+A6+TP4.0	Low-E5.0+A6+TP5.0	Low-E5.0+A6+TP4.0		
金 物	引手, 丸セト(2箇所), 3(4)方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3(4)方7&377&も, 戸車, スリッパ, ハンカチホルダー, 7&377&水切, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 指挟み防止ストッパー, 戸先ワック, その他付属金物一式(※-B仕様)	4方7&377&も, 7&377&水切, ハンカチホルダー, 突出しアルミ, 丁番, コーナキャップ, 指挟み防止ストッパー, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 戸先ワック, 指挟み防止ストッパー, その他付属金物一式(※-B仕様)	引手, 丸セト(2箇所), 3方7&377&も, 戸車, 戸先ワック, 指挟み防止ストッパー, その他付属金物一式(※-B仕様)	
備 考	網戸	網戸	網戸(引違い窓) ※カーテン	網戸 ※カーテン	網戸 ※カーテン	網戸 ※カーテン		
符号・室名・数量	AW-20 調理室 1		AG-1 調理室 1	AG-2 調理室 1	AG-3 調理室 2			
姿 図								
形式・見込	FIX窓 70		2連&引窓 70	&引窓 70	&引窓 70			
材 料	アルミ製		アルミ製	アルミ製	アルミ製			
仕 上	電解着色仕上		電解着色仕上	電解着色仕上	電解着色仕上			
硝 子	TP4		-	-	-			
金 物	4方7&377&も, 4方7&377&も, 4方7&377&も, その他付属金物一式(※-B仕様)		4方7&377&も, &引:防虫網, その他付属金物一式(※-B仕様)	4方7&377&も, &引:防虫網, その他付属金物一式(※-B仕様)	4方7&377&も, &引:防虫網, その他付属金物一式(※-B仕様)			
備 考			ガラリ有効35%	ガラリ有効35%	ガラリ有効35%			
符号・室名・数量	TB-1 便所2 1	LSD-1 便所1・沐浴室 3	LSD-2 保育室(1歳) 2	LSD-3 調乳室 1	LSD-4 廊下(職員) 1	LSD-5 多目的便所 1		
姿 図								
形式・見込	幼児用トイレブレース 40	上吊りハンカチーフ(LGS壁内臓型)機構のみ 1,600	上吊りハンカチーフ(LGS壁内臓型)機構のみ 1,980	上吊りハンカチーフ(LGS壁内臓型)機構のみ 1,500	上吊りハンカチーフ(LGS壁内臓型)機構のみ 1,420	上吊りハンカチーフ2連動片引き戸袋+袖片開閉タイプ 1,800		
材 料	表面材:高圧クマ樹脂化粧板 イマツク	軽量スチール	軽量スチール	軽量スチール	軽量スチール	軽量スチール		
仕 上	-	-	-	-	-	焼付塗装仕上(※-B仕様)		
硝 子	-	-	-	-	-	ポリカ板(不透明) 15.0		
金 物	壁面固定金具, T型固定金具, スリッパ受け, スリッパ受け, 戸当りゴム, グレデヒンジ, 樹脂製ハンドル, SUS巾木, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	ハンカチーフ車, ハンカチーフ車, その他付属金物一式(※-B仕様)	
備 考		扉・枠は木製(WD-10参照)	扉・枠は木製(WD-11参照)	扉・枠は木製(WD-12参照)	扉・枠は木製(WD-6参照)	扉・枠は木製(WD-6参照)		

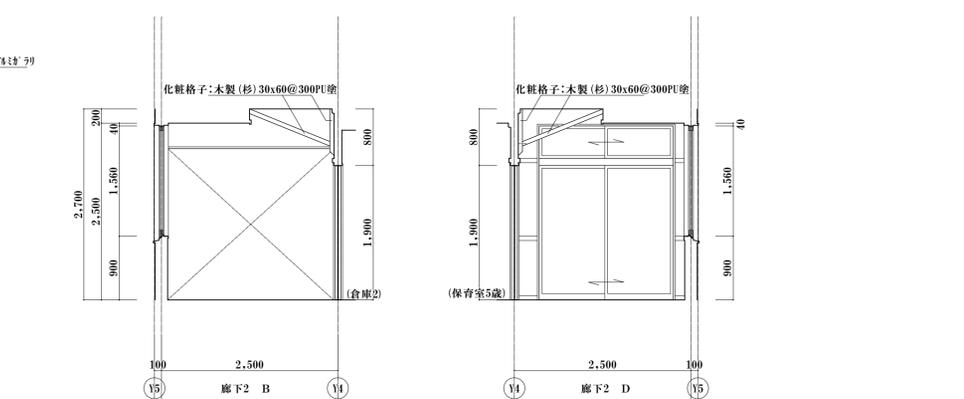
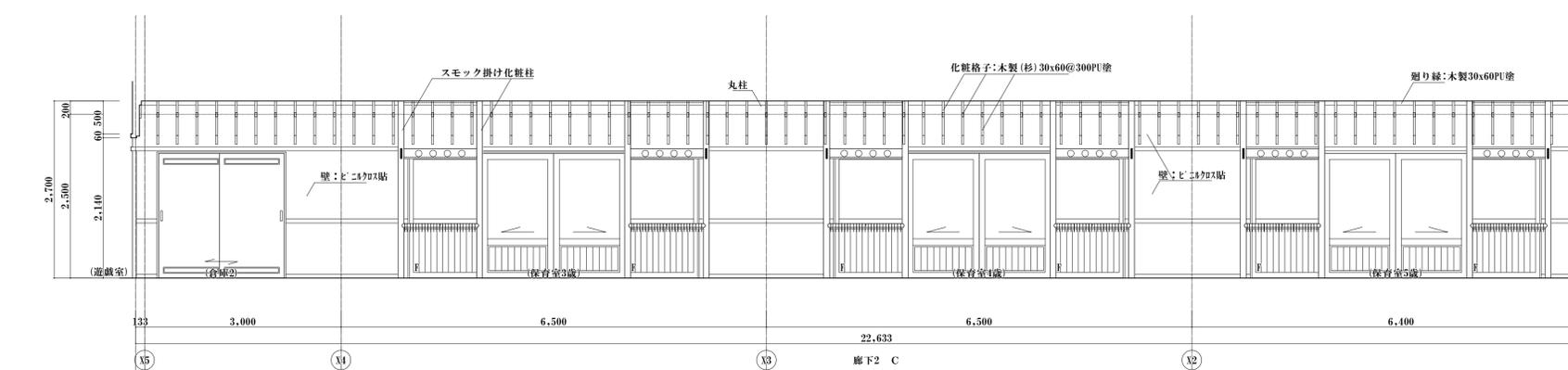
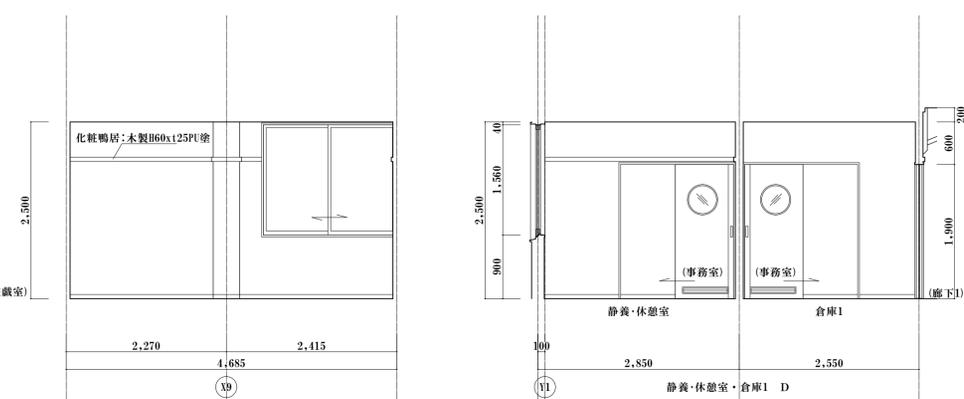
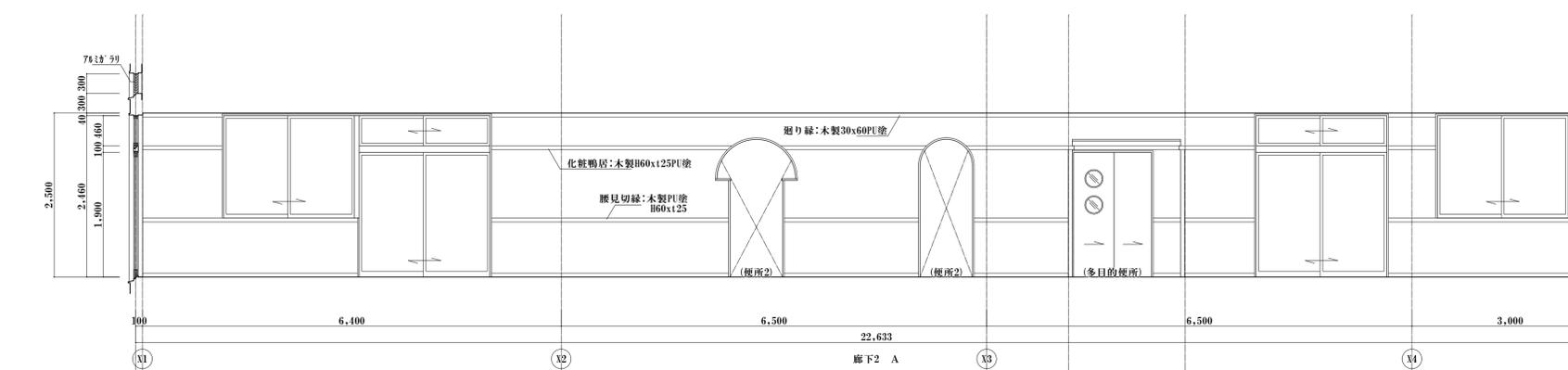
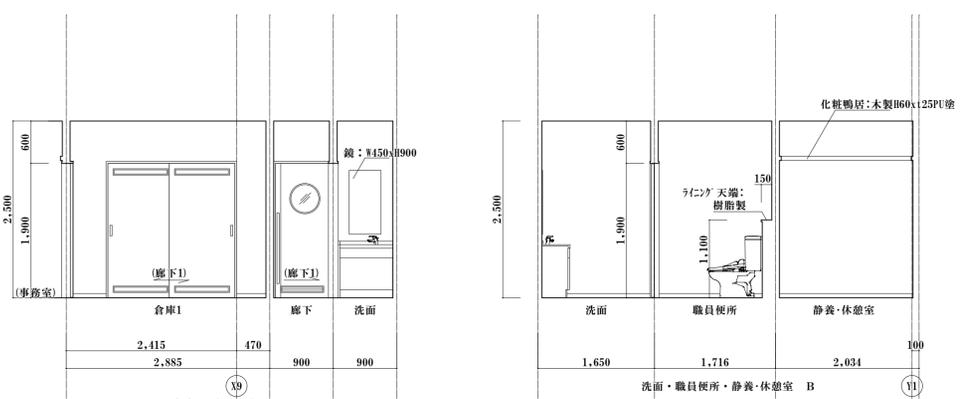
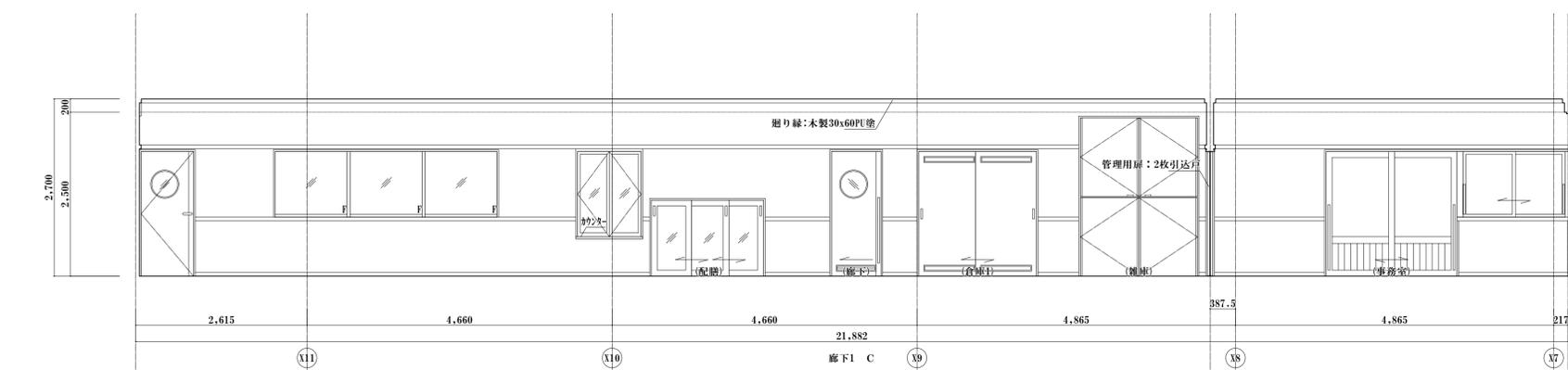
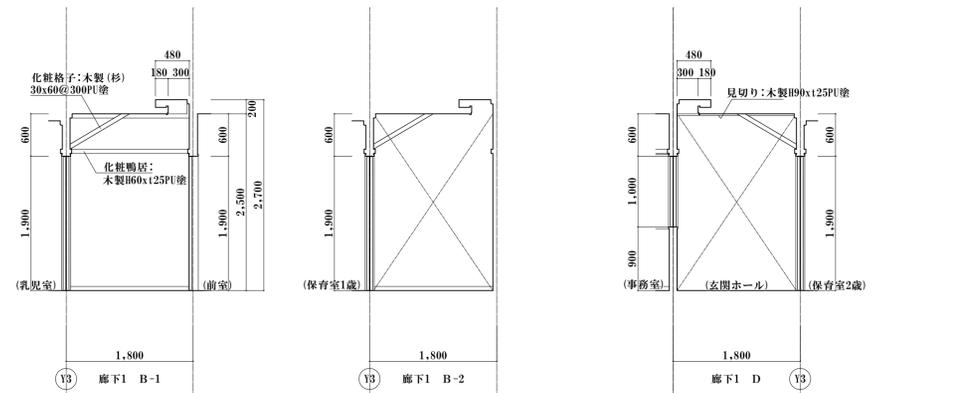
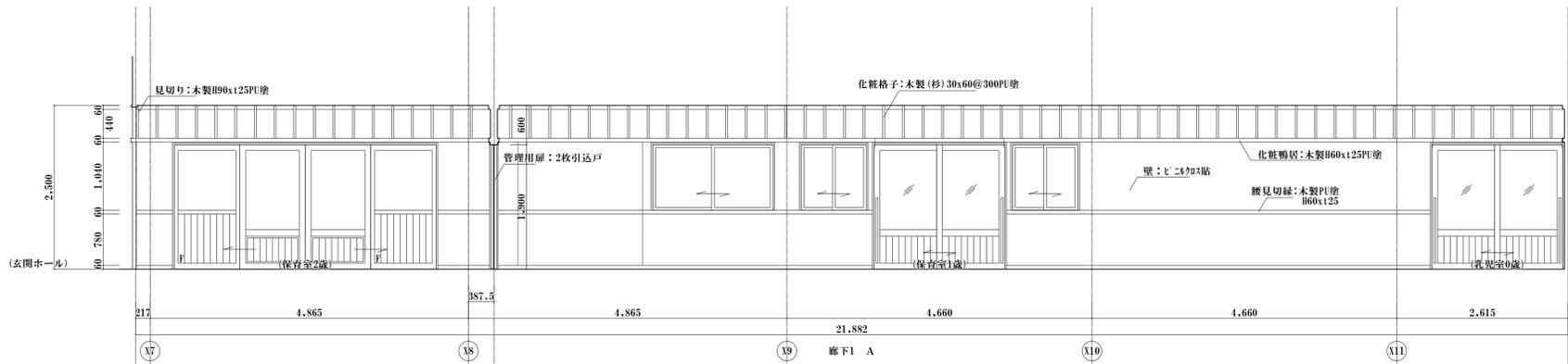
□特記・凡例

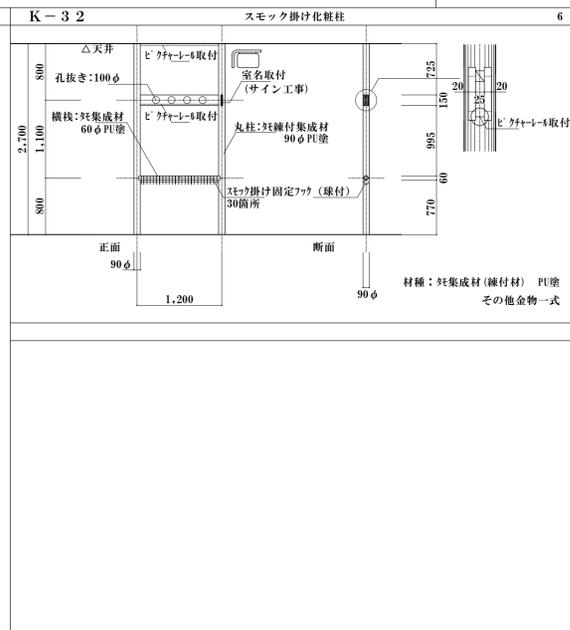
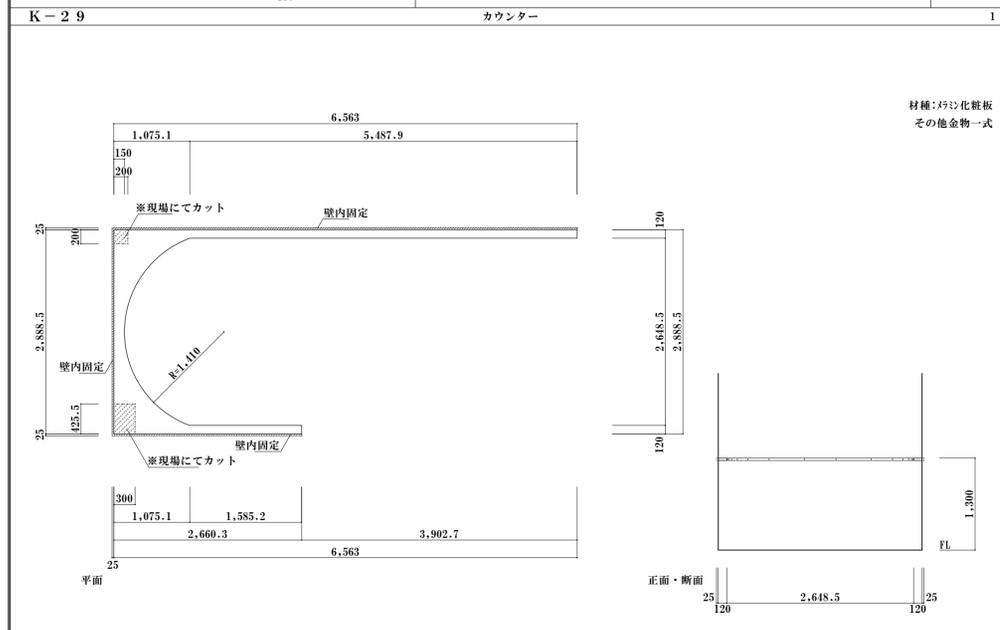
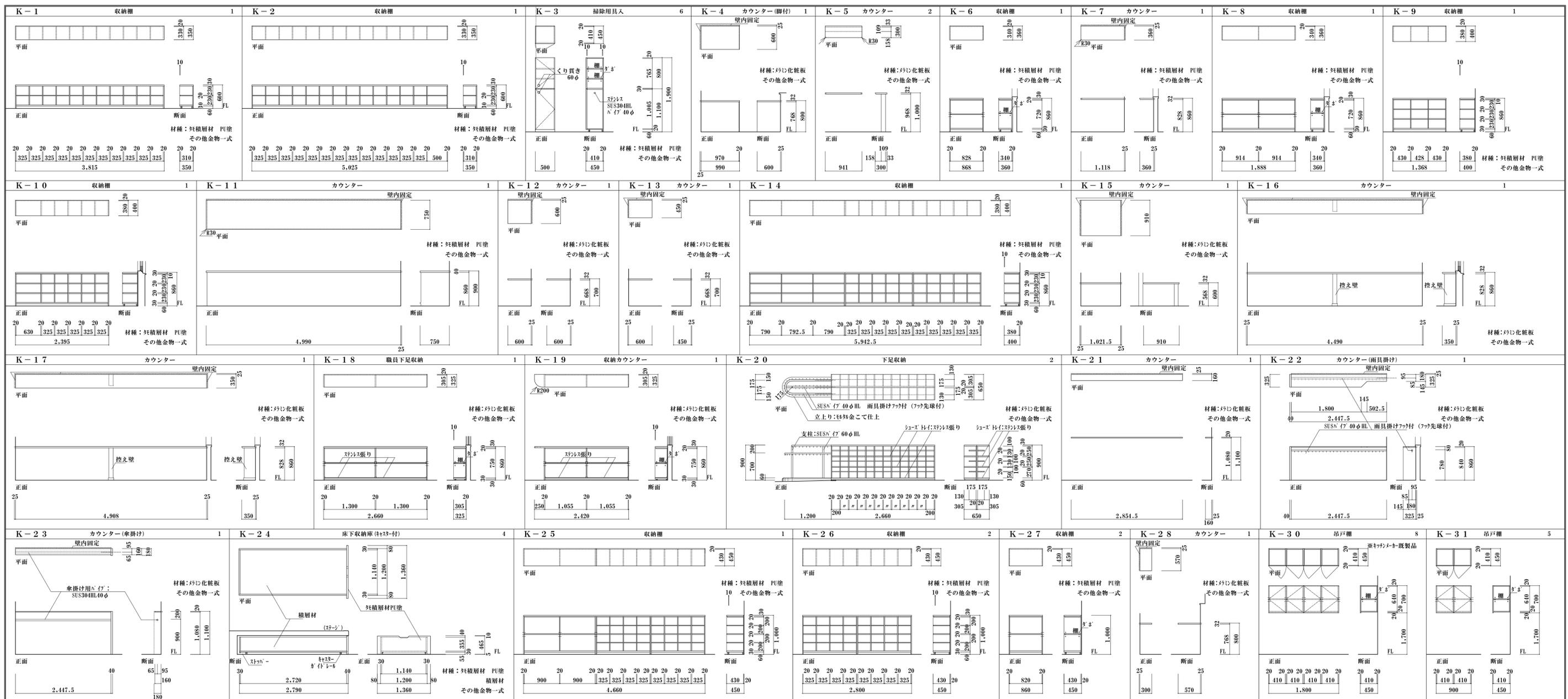
符号・室名・数量	WD-1 事務室 1	WD-2 倉庫1 静養・休憩室 2	WD-3 静養・休憩室 1	WD-4 倉庫1 1	WD-5 職員便所 1	WD-6 事務室内廊下 1	WD-7 雑庫 1	
図面								
形式・見込	4連引違い扉窓・引違い扉戸 扉:36 枠:130	片引きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	片引きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	引違いフラッシュ戸 扉:36 枠:130	片開きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	上吊り窓(ドア7(LGS壁内臓37)) 扉:36 枠:130	片開きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	
材料	アッシュ(枠共)	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	
仕上	UC塗(枠共)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	
硝子	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(不透明) 15.0	ポリカ板(不透明) 15.0	-	ポリカ板(不透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(不透明) 15.0	
金物	引手, スリッパ付-4, 戸車, 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム, クレセント, SUS掘込み引手(引違い窓)	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	
備考								
符号・室名・数量	WD-8 保育室(2歳) 1	WD-9 押入1 1	WD-10 便所1・沐浴室 3 1	WD-11 保育室(1歳) 2	WD-13 乳児室(0歳) 保育室(1歳) 2	WD-14 収納 1	WD-15 押入2 2	WD-16 職員便所 1
図面								
形式・見込	4枚建て引き分け戸(両側はめ殺し戸) 扉:36 枠:130	3枚建て引違いフラッシュ戸 扉:36 枠:130	上吊り窓(ドア7(LGS壁内臓37)) 扉:36 枠:130	上吊り窓(ドア7(LGS壁内臓37)) 扉:36 枠:130	引違い扉戸 扉:36 枠:130	3枚建て引違いフラッシュ戸 扉:36 枠:130	引違いフラッシュ戸 扉:36 枠:130	片引きフラッシュ戸 扉:36 枠:130
材料	アッシュ(枠共)	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様
仕上	UC塗(枠共)	UC塗(枠)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠)
硝子	ポリカ板(透明) 15.0	-	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	-	-	ポリカ板(不透明) 15.0
金物	スリッパ付-4, 戸車, 掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)
備考			※()内はWD-12を示す。		※()内はWD-13を示す。			
符号・室名・数量	WD-17 調理更衣室 1	WD-18 前室 1	WD-19 調理室(配膳室) 1	WD-20 廊下1 1	WD-21 遊戯室 1	WD-23 子育て支援室 1 2	WD-24 倉庫2 1	
図面								
形式・見込	片引きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	片開きフラッシュ戸 扉:36 枠:130	3枚建て引違い扉窓 扉:36 枠:130	2枚建て引込み上吊り扉戸 扉:36 枠:130	5枚建て引違い扉戸 扉:36 枠:230	片引き戸 扉:36 枠:130	引違い戸 扉:36 枠:130	
材料	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	
仕上	UC塗(枠)	UC塗(枠)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	
硝子	ポリカ板(不透明) 15.0	ポリカ板(不透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	ポリカ板(透明) 15.0	-	-	
金物	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	引手, スリッパ付-4, 戸車, 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム, クレセント, SUS掘込み引手	掘込み引手L1000, 戸車, 掘れ止め, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, 掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	
備考						※()内はWD-24を示す。		
符号・室名・数量	WD-26 倉庫2 1	WD-27 保育室(3・4・5歳) 3	WD-28 保育室(1歳) 1	WD-29 乳児室(0歳) 1	WD-30 保育室(3・4・5歳) 2	WD-31 乳児室(0歳) 保育室(1歳)・(2歳) 3		
図面								
形式・見込	引違いフラッシュ戸 扉:36 枠:130	4枚建て引き分け戸(両側はめ殺し戸) 扉:36 枠:130	片引き格子扉戸 扉:36 枠:60	片引き格子扉戸 扉:36 枠:60	引違い扉戸 扉:36 枠:130	片引き格子扉戸 扉:36 枠:60		
材料	扉:珪化化粧板 枠:木製 小口:堅木 戸先:板仕様	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)	アッシュ(枠共)		
仕上	UC塗(枠)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)	UC塗(枠共)		
硝子	-	ポリカ板(透明) 15.0	-	-	ホーローパネル貼(両面共)	-		
金物	スリッパ付-4, 戸車, SUS掘込み引手, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当りゴム	スリッパ付-4, 戸車, 掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	掘込み引手L1000, 戸車, スリッパ付-4, 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	掘込み引手L1000, 戸車, スリッパ付-4, 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	スリッパ付-4, 戸車, 掘込み引手L1000, 鎌錠 (H1500空錠), 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)	掘込み引手L1000, 戸車, スリッパ付-4, 指挟み防止ゴム, 戸当り(7割止め付)		
備考			※()内はWD-28を示す。					

□特記・凡例

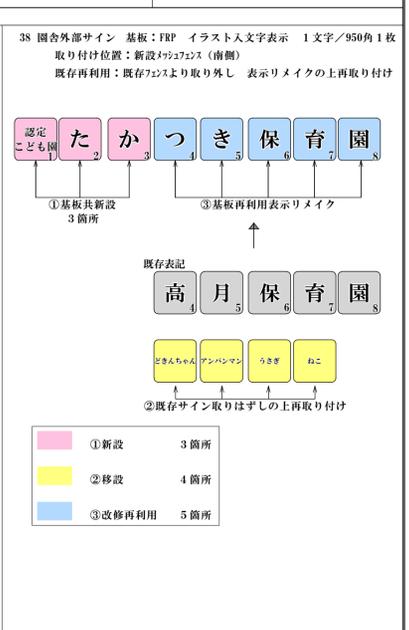


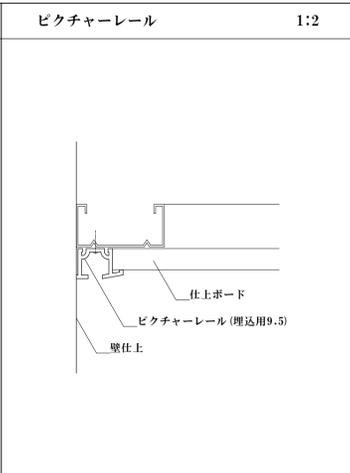
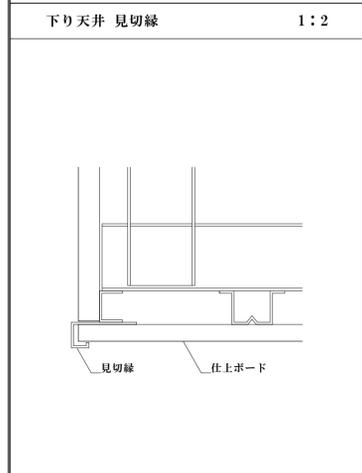
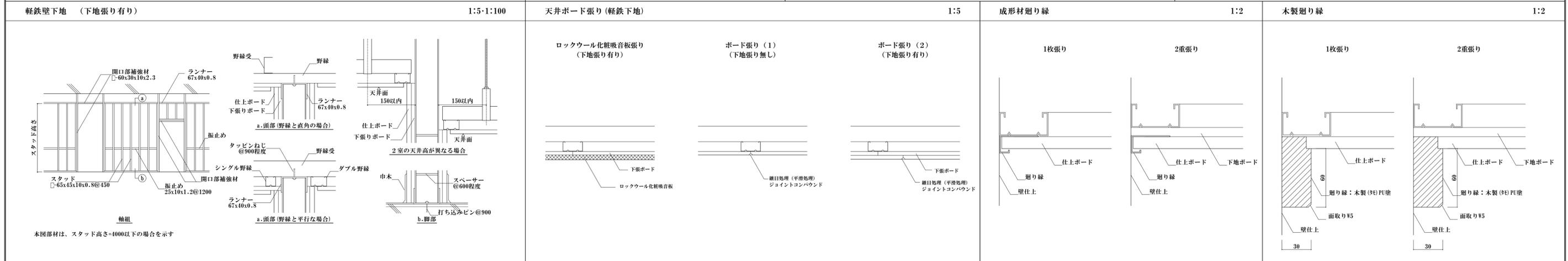
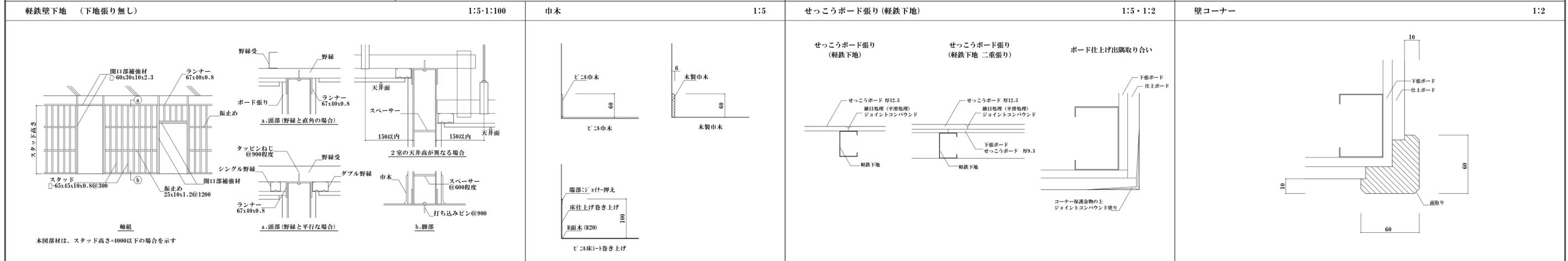
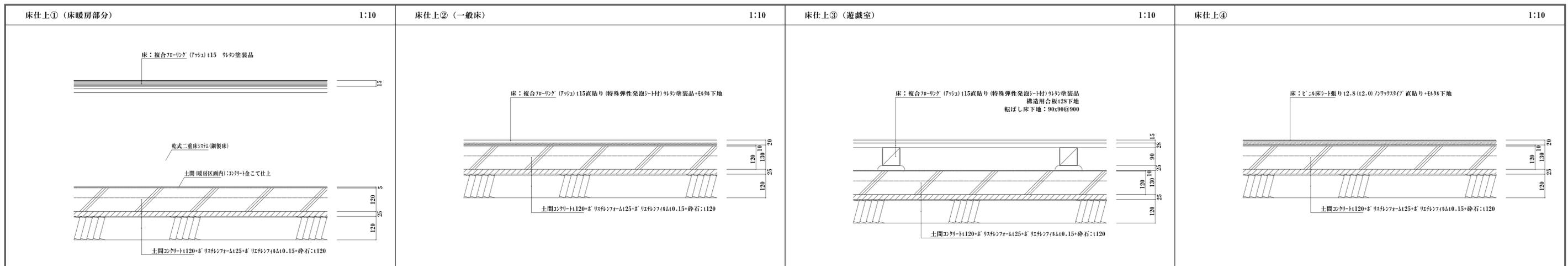


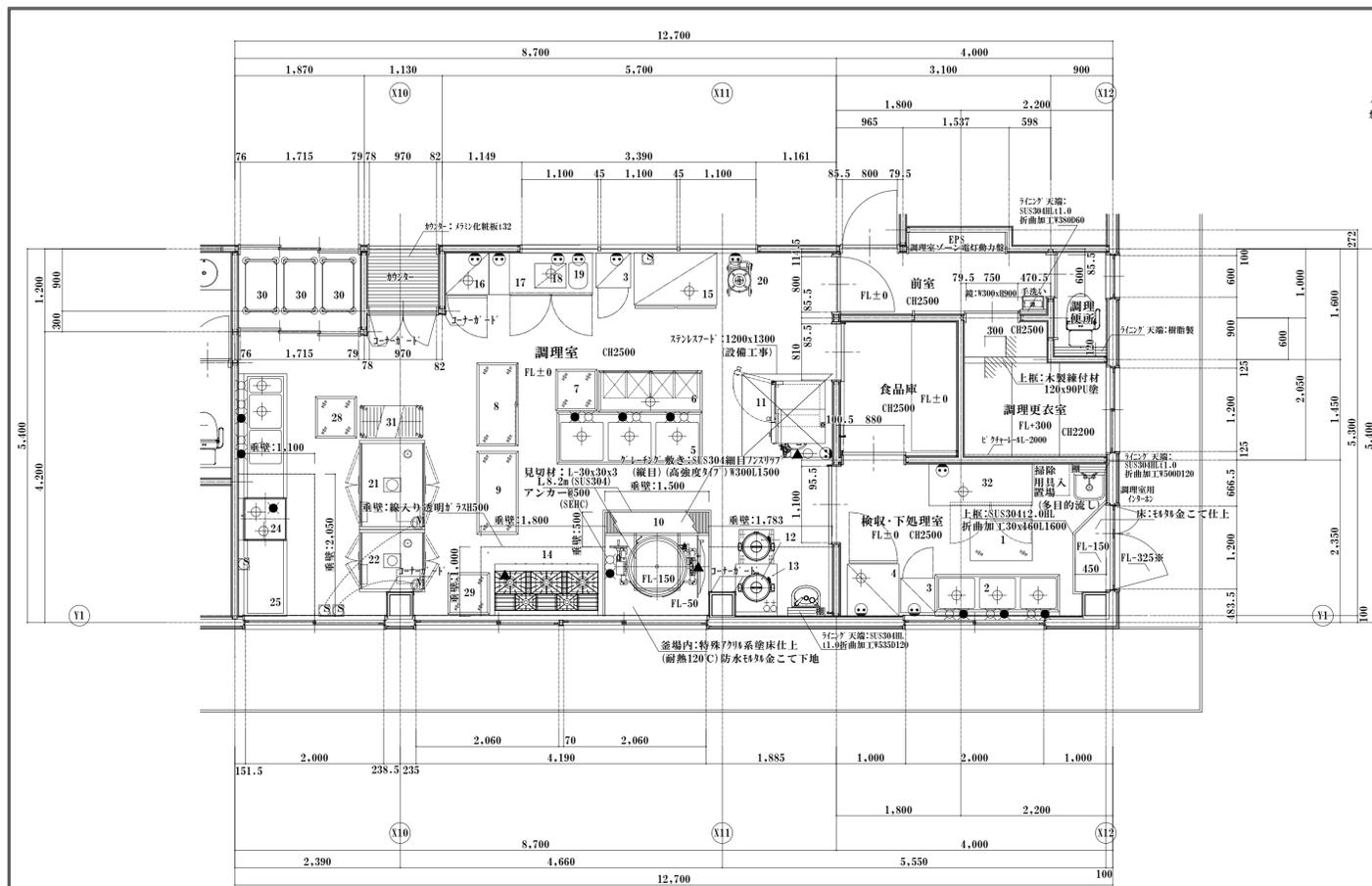




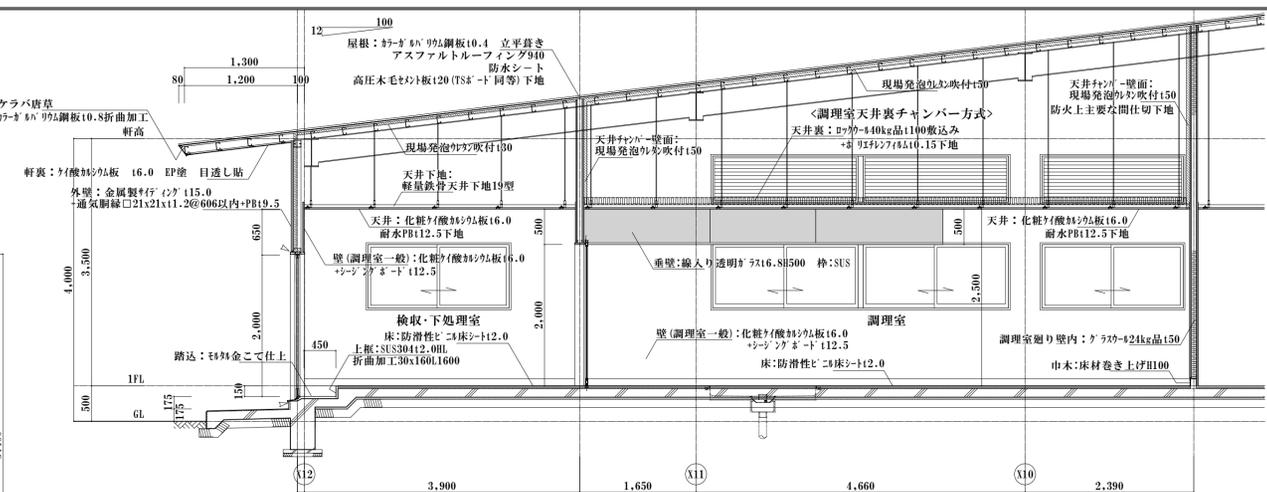
■設置箇所		①天花付直貼	②アラタキ付	③平付付	■設置箇所		①天花付直貼	②アラタキ付	③平付付
1	受付・事務室	文字			26	倉庫2	文字		
2	事務室		●		27	多目的所	ビクト×4		
3	静養・休憩室		●		28	便所2		○	
4	職員更衣室	文字			29	職員便所2	文字		
5	倉庫1	文字			30	掃除具	ビクト		
6	収納	文字			31	保育室(3歳)		●	
7	職員便所	文字			32	保育室(4歳)		●	
8	STAFF ONLY	文字			33	保育室(5歳)		●	
9	相談室	文字			34	収納	文字		
10	配膳コーナー	ビクト			35	遊戯室(3歳)	木製1700φ×140		
11	調理室	文字	●		36	総合案内板	15 770×600 ｲﾝｸﾞﾗﾝﾄﾞ多色印刷 化粧ﾋﾞｽﾞ留800×600		
12	調理便所	文字			37	案内板	15 770×600 ｲﾝｸﾞﾗﾝﾄﾞ多色印刷 化粧ﾋﾞｽﾞ留450×450		
13	食品庫	文字			① 天花付直貼 相談室 100角/1文字				
14	検収・下処理室	文字							
15	検収・下処理室	文字(外部仕様)							
16	ばんだ組		●						
17	ひよこ組		●						
18	うさぎ組		●						
19	子育て支援室			○					
20	調理室			○					
21	沐浴室			○					
22	便所1			○					
23	押入1	文字		○					
24	押入2	文字		○					
25	遊戯室			○					



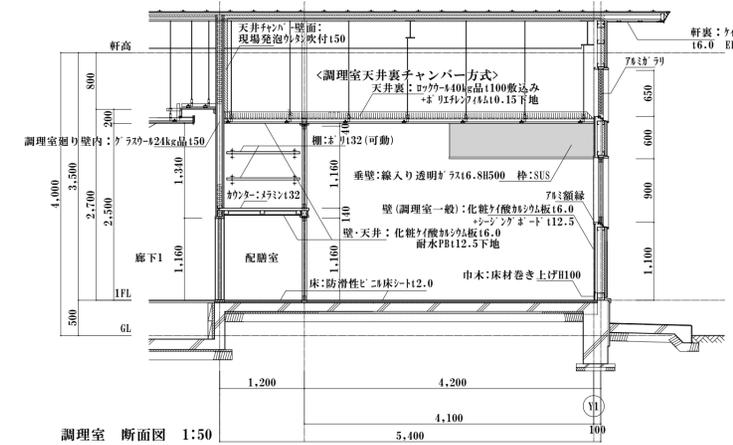




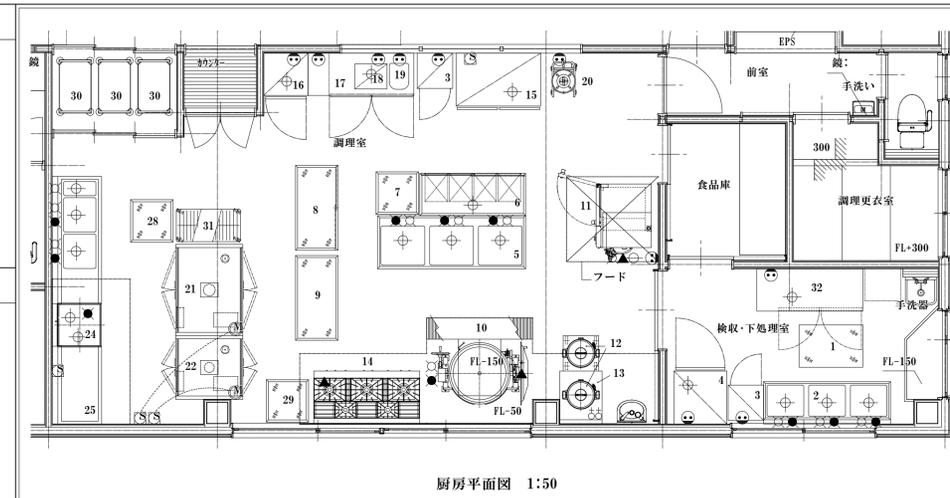
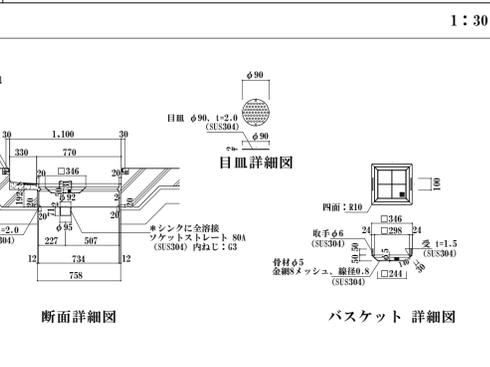
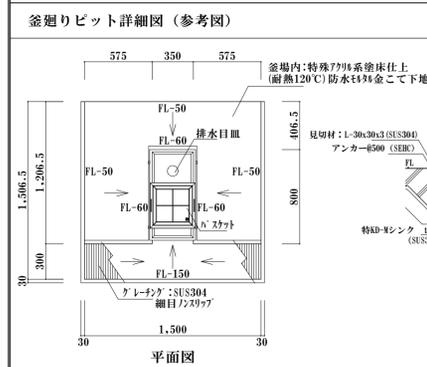
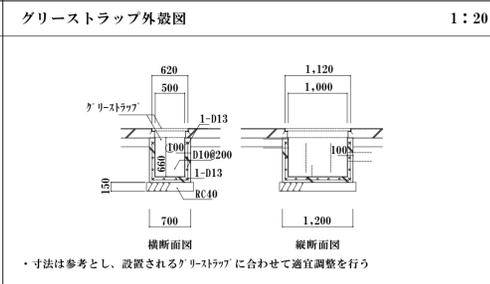
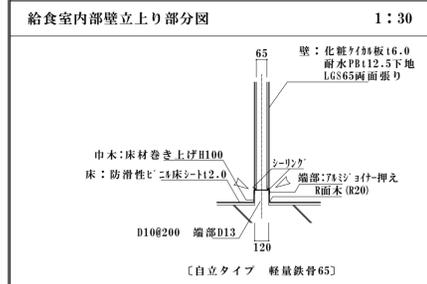
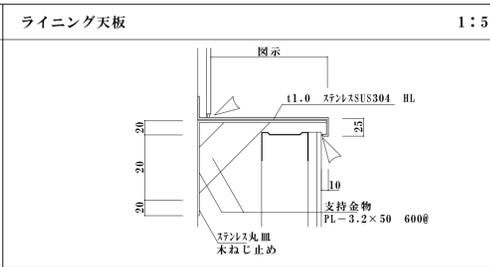
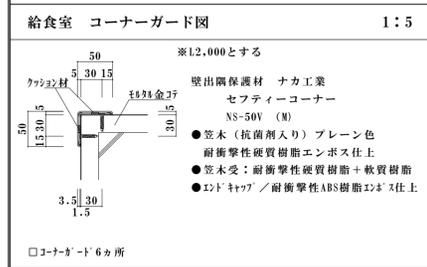
調理室 平面図 1:50



調理室 断面図 1:50



調理室 断面図 1:50



厨房平面図 1:50

No.	品名	台数	寸法 (規格)			配管接続口	排水	ガス (LPG)	電	気 (KW)	備考		
			幅	奥行	高さ								
1	検収台	1	900	600	600						移動式		
2	三槽シンク	1	1800	600	850	1.5A×3 混合水栓	1.5A×3 混合水栓	4.0A×3					
3	包丁まな板殺菌庫	2	500	500	1005				0.58 -2台	0.274	KT-328 乾燥機能付		
4	冷蔵庫	1	750	800	1890			5.0A			冷蔵29L		
5	三槽シンク	1	2100	750	850	1.5A×3 混合水栓	1.5A×3 混合水栓	4.0A×3					
6	調理台	1	1500	600	850			4.0A			下部が棚付、引出付		
7	移動台	1	600	600	850								
8	移動台	1	1200	600	850						下部が棚付(片面)		
9	移動台	1	1200	600	850								
10	ガス回転釜	1	1390	870	780	1.5A レバー水栓	1.5A レバー水栓	ビット	2.0A	2.35	KGSD1-20 ワタ入水蒸気80L		
11	ガスシステム コンベクションオーブン	1	902	773	1750	5.0A 耐熱管	2.0A	ビット	2.0A	3.07	1.0	CP-101G (移設品)	
12	炊飯器	2	450	421	425				9.5m ² /m ² ホース2台	0.396 -2台		KR-3051 2~皿炊き (移設品)	
13	置台	1	600	750	840								
14	ガステーブル	1	1500	750	800			2.0A	4.54			大バーナー3個、小バーナー2個 (移設品)	
15	冷凍冷蔵庫	1	1200	800	1890			5.0A			0.644	冷凍302L、冷蔵302L 2室冷凍	
16	検食用冷凍庫	1	625	650	1890			5.0A			0.365	BF-63CT-KS (移設品)	
17	冷蔵コードテーブル	1	1500	600	800			5.0A			0.3	冷蔵329L	
18	電子レンジ	1	455	352	293						1.41	NE-T157 (移設品)	
19	IH炊飯ジャー	1	275	370	250						1.29	NB-YG1S 1合~1升炊き (移設品)	
20	高速度ミキサー	1	370	506	983						0.2	MX-25 (移設品)	
21	食器消毒保管庫	1	1290	950	1860						9.5	EP-150AN 30kg用 両面式	
22	器具消毒保管庫	1	900	950	1860						6.75	EM-100IN 両面式 (移設品)	
23	ソイルドテーブル	1	1800	700	820	1.5A×3 混合水栓	1.5A×2 混合水栓	4.0A×3					残量カゴ付
24	食器洗浄機	1	600	605	1365	1.5A	5.0A×2 耐熱管				6.7	55クック/時	
25	クリーンテーブル	1	1100	700	820								
26	欠番												
27	ラック	2	1220	610	1590								ソリッド棚4段
28	移動台	1	600	600	650								
29	移動台	1	600	600	800								
30	運搬車	3	759	461	963								NETTI-2S ソリッド棚3段
31	ラック	1	910	460	1590								4段 移動式
32	冷蔵コードテーブル	1	1500	600	880			5.0A		0.313			FT-1565NC (移設品)
									ガス消費量 合計 (kWh/日)	14.100	3.4300		
									合計 (kWh/年)	6.412	23.594		

<p>地先境界ブロック 1:10</p> <p>7.0m</p>	<p>コンクリート舗装 (テラス類) 1:10</p>	<p>U字溝 1:10</p>	<p>雨水桝 1:30</p> <p>20カ所</p>																																																								
<p>アスファルト舗装 1:10</p>	<p>園庭暗渠排水図 1:10</p>	<p>27.0m</p> <p>・アスファルトレシーブ：タキタ455-290同等 ※勾配がとれない場合は側溝内防水モルタル塗</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A 種</th> <th>B 種</th> <th>C 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>a</td><td>355</td><td>420</td><td>490</td></tr> <tr><td>b</td><td>275</td><td>335</td><td>400</td></tr> <tr><td>c</td><td>240</td><td>300</td><td>360</td></tr> <tr><td>d</td><td>40</td><td>42.5</td><td>45</td></tr> <tr><td>e</td><td>30</td><td>30</td><td>35</td></tr> <tr><td>f</td><td>45</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>g</td><td>35</td><td>40</td><td>40</td></tr> <tr><td>h</td><td>370</td><td>420</td><td>480</td></tr> <tr><td>i</td><td>100,120</td><td>100,120</td><td>100,120</td></tr> <tr><td>j</td><td>120</td><td>150</td><td>150</td></tr> <tr><td>k</td><td>275</td><td>335</td><td>400</td></tr> <tr><td>l</td><td>30</td><td>35</td><td>45</td></tr> <tr><td>m</td><td>300</td><td>300</td><td>300</td></tr> </tbody> </table>			A 種	B 種	C 種	a	355	420	490	b	275	335	400	c	240	300	360	d	40	42.5	45	e	30	30	35	f	45	50	50	g	35	40	40	h	370	420	480	i	100,120	100,120	100,120	j	120	150	150	k	275	335	400	l	30	35	45	m	300	300	300
	A 種	B 種	C 種																																																								
a	355	420	490																																																								
b	275	335	400																																																								
c	240	300	360																																																								
d	40	42.5	45																																																								
e	30	30	35																																																								
f	45	50	50																																																								
g	35	40	40																																																								
h	370	420	480																																																								
i	100,120	100,120	100,120																																																								
j	120	150	150																																																								
k	275	335	400																																																								
l	30	35	45																																																								
m	300	300	300																																																								

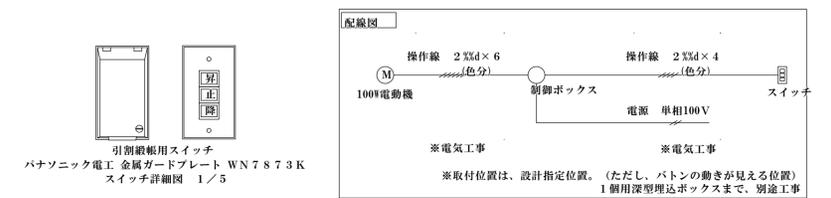
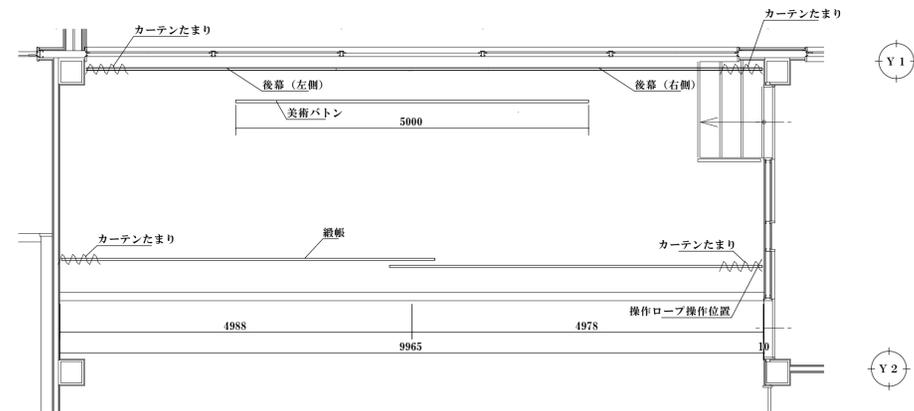
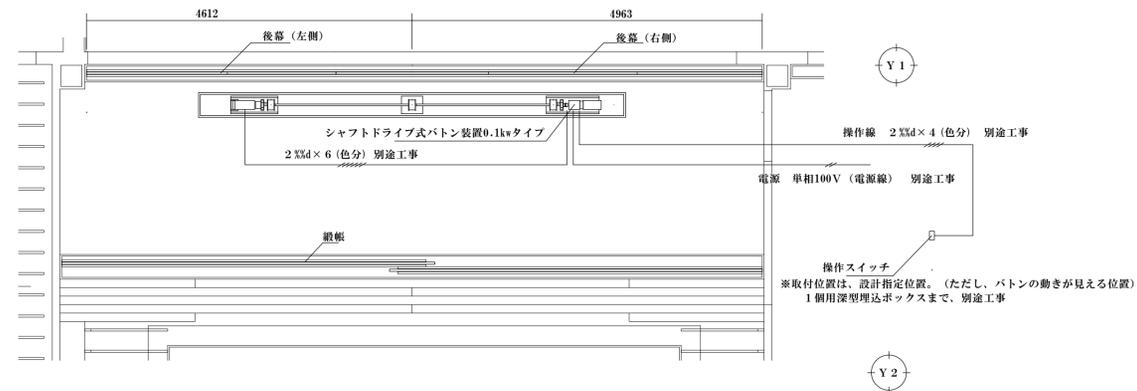
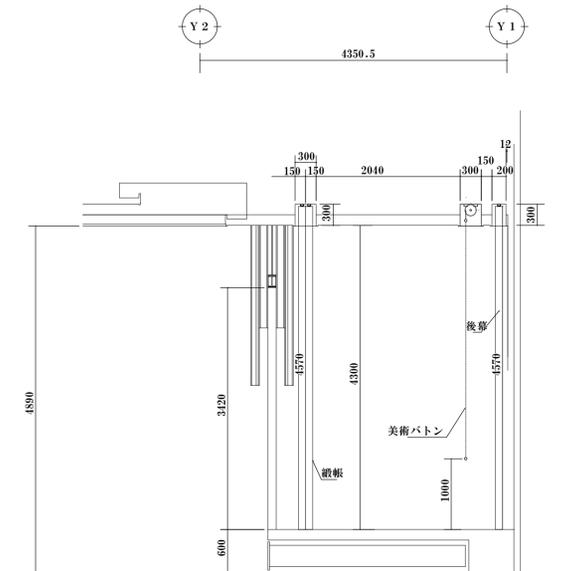
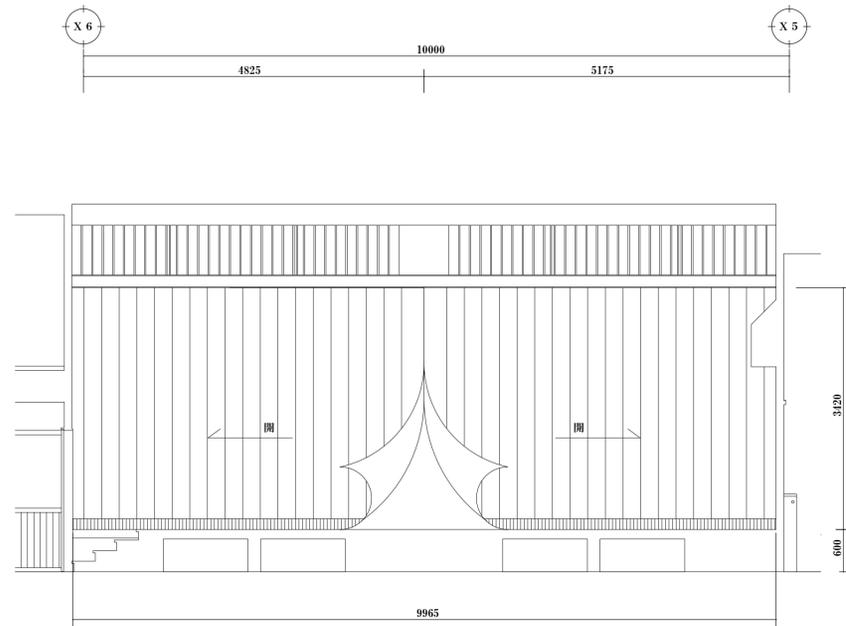
<p>外洗い場 1:50</p>	<p>大型引戸門扉 (参考図) not to Scale</p>
-------------------------	---

<p>フェンス (参考図) not to Scale</p> <p>朝日A RフェンスR型同等品 62.0m</p>

<p>大型引戸門扉W6000ｽﾀｰｰﾙｰﾀｲﾌﾟ H1200 (両開き)三協ｸﾞﾗﾌﾞｰﾄﾞGｸﾞﾗﾝﾞｲﾌﾞ同等品</p>	<p>■材質仕様表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要部材</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>扉本体・門柱</td><td>アルミニウム合金押出成形材 A6063S-T5</td></tr> <tr><td>戸車</td><td>ステンレス SUS303,304</td></tr> <tr><td>転倒防止金具</td><td>ステンレス SUS304</td></tr> <tr><td>控えジョイント、たて扉 キャップ、門柱キャップ</td><td>アルミ鋳物 AC3A</td></tr> <tr><td>戸当たり材</td><td>樹脂 EPT</td></tr> <tr><td>格子キャップ</td><td>樹脂 ポリアミド</td></tr> <tr><td>前ストッパー</td><td>ねずみ鋳鉄 FC</td></tr> <tr><td>後ストッパー</td><td>ステンレス SUS304</td></tr> <tr><td>スチールレール</td><td>一般構造用圧延鋼材 SS400</td></tr> <tr><td>ステンスレール</td><td>ステンレス SUS304</td></tr> <tr><td>レール溝型</td><td>ポリスチレンフォーム</td></tr> <tr><td>落し棒</td><td>ステンレス SUS304φ16</td></tr> <tr><td>剣先(オプション)</td><td>アルミダイカスト ADC12</td></tr> </tbody> </table>	主要部材	材質	扉本体・門柱	アルミニウム合金押出成形材 A6063S-T5	戸車	ステンレス SUS303,304	転倒防止金具	ステンレス SUS304	控えジョイント、たて扉 キャップ、門柱キャップ	アルミ鋳物 AC3A	戸当たり材	樹脂 EPT	格子キャップ	樹脂 ポリアミド	前ストッパー	ねずみ鋳鉄 FC	後ストッパー	ステンレス SUS304	スチールレール	一般構造用圧延鋼材 SS400	ステンスレール	ステンレス SUS304	レール溝型	ポリスチレンフォーム	落し棒	ステンレス SUS304φ16	剣先(オプション)	アルミダイカスト ADC12	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼称</th> <th colspan="2">扉組合せ</th> <th colspan="2">門扉幅</th> <th rowspan="2">有効開口幅</th> <th rowspan="2">後ストッパー - 取付位置 :A'</th> <th rowspan="2">後ストッパー - 取付位置 :A</th> <th rowspan="2">レール施工幅</th> <th rowspan="2">扉厚</th> </tr> <tr> <th>鋭受け側</th> <th>鋭側</th> <th>鋭受け側</th> <th>鋭側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60W</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>3000</td> <td>3000</td> <td>6363</td> <td>5867.5</td> <td>5870</td> <td>11940</td> <td>1200</td> </tr> </tbody> </table> <p>後ストッパー取付位置：A、A' (オールアンカー穴)の計算式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>納まり形態</th> <th>A、A'</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体</td> <td>単体扉のW寸法×2-131.5</td> </tr> <tr> <td>連結</td> <td>連結扉のW寸法の合計×2-431.5</td> </tr> </tbody> </table>	呼称	扉組合せ		門扉幅		有効開口幅	後ストッパー - 取付位置 :A'	後ストッパー - 取付位置 :A	レール施工幅	扉厚	鋭受け側	鋭側	鋭受け側	鋭側	60W	30	30	3000	3000	6363	5867.5	5870	11940	1200	納まり形態	A、A'	単体	単体扉のW寸法×2-131.5	連結	連結扉のW寸法の合計×2-431.5
主要部材	材質																																																											
扉本体・門柱	アルミニウム合金押出成形材 A6063S-T5																																																											
戸車	ステンレス SUS303,304																																																											
転倒防止金具	ステンレス SUS304																																																											
控えジョイント、たて扉 キャップ、門柱キャップ	アルミ鋳物 AC3A																																																											
戸当たり材	樹脂 EPT																																																											
格子キャップ	樹脂 ポリアミド																																																											
前ストッパー	ねずみ鋳鉄 FC																																																											
後ストッパー	ステンレス SUS304																																																											
スチールレール	一般構造用圧延鋼材 SS400																																																											
ステンスレール	ステンレス SUS304																																																											
レール溝型	ポリスチレンフォーム																																																											
落し棒	ステンレス SUS304φ16																																																											
剣先(オプション)	アルミダイカスト ADC12																																																											
呼称	扉組合せ		門扉幅		有効開口幅	後ストッパー - 取付位置 :A'	後ストッパー - 取付位置 :A	レール施工幅	扉厚																																																			
	鋭受け側	鋭側	鋭受け側	鋭側																																																								
60W	30	30	3000	3000	6363	5867.5	5870	11940	1200																																																			
納まり形態	A、A'																																																											
単体	単体扉のW寸法×2-131.5																																																											
連結	連結扉のW寸法の合計×2-431.5																																																											

■遊具改修リスト

現設置箇所	撤去有無	符号	遊具名	箇所数	寸法	仕様等	現設置箇所	撤去有無	符号	遊具名	箇所数	寸法	仕様等	備考	
現南側グラウンド	■	U-1	トレイン3両連結	1組	・ 汽 車 (W1200*L3000*H1650 : 274kg) ・ 客 車 (W1200*L2970*H1630:338kg) ・ 荷台車 (W1200*L3000*H1000:200kg)	高密度ポリエチレン材+鋼材 接続支柱・固定金具共撤去	現保育棟中庭	■	U-21	回転遊具	1機	・ 本体 (2000φ*H600)	FRP	金物固定無 全て床置き ↓ 改修後床置き 金物固定無	
	■	U-2	山形ジム	1機	・ 本 体 (2000φ : 40kg)	FRP 固定アーカーボルト共撤去		□	U-22	森のプチハウス	1機	・ 本体 (1000φ*H1800)	FRP		
	■	U-3	マルチブレイジム 滑り台付	1機	・ 本体 (W970*L2010*H1500 : 28.6kg)	ポリスチレン		□	U-23	動物 らくだりす あしか ライオン	1機 1機 1機 1機	・ 本体 (W450*L1100*H700) ・ 本体 (W500*L900*H500) ・ 本体 (W600*L1000*H700) ・ 本体 (W1000*D700*H650)	FRP FRP FRP FRP		
	■	U-3	スイートハウス	1棟 3棟	・ 本体 (W1350*D1190*H1470 : 42.3kg)	ポリスチレン		□	U-24	円形テーブルセット (ベンチ4客付)	1組	・ テーブル (750φ) +ベンチ (D250*L900)	FRP スチール		
	■	U-4	椅子付低層ブランコ	1機	・ 本体 (W1500*D500*H900 :	スチール		□	U-25	クジラのすべり台	1機	・ 本体 (W700*H750*L1500)	FRP		
	□	U-5	はんとろ棒 (吊輪付) 安全マット共	1機	・ 本体 (W1800*L4000*H1960 60φ棒8本付) ・ マット : 4000角	スチール		□	U-26	組み立てプール	1機	・ 本体 (W3400*D6400*H700)	FRP		
	□	U-6	すべり台 (クライミング式)	1機	・ 本体 (W2300*D1600*H1600)	スチール		※①・・・再利用移設遊具は、工事期間中構内にて仮置きとする。 ※②・・・既存中庭置き遊具は、既存園舎解体時まで既存のまま据え置く。 ※③・・・移設に伴う固定金物は更新し、汚れの除去のみ行う。 ※④・・・U-15の移設に際し、一部滑り台Bは、取り外し処分とし、ネット張りにて落下防止の措置を行うこと。 ※⑤既存のままの遊具は、一部シート養生を行う。(湯往生箇所は図示)							
	□	U-7	三連鉄棒 逆上がり補助板共 安全マット	1機 1機 5枚	・ 本体 (H850+1000+1200) ・ 本体 (650*D1300*H1160:26kg) ・ マット : 900角	ステンレス 樹脂板スノコ+スチール枠 ゴム									
	□	U-8	時計台 RC架台基礎	1機	・ 本体 (W750*D600*H2100) ・ 基礎 (W750*D600*H750) 見え掛寸法	FRP									
	□	U-9	切株型テーブルセット	1機 4脚	・ テーブル (600φ*H450) ・ 椅子 (300φ*H250)	FRP									
	□	U-10	スイング乗り物	1機	・ 本体 (W1200*D800*H750)	FRP									
	□	U-11	クライミング 三角型	1機	・ 本体 (W1800*D1000*H1800)	高密度ポリエチレン材+鋼材									
	□	U-12	お猿のSL	1機	・ 本体 (W600*L1800*H1000)	FRP									
	□	U-13	ベンチ一体型テーブルセット	1機	・ テーブル (W500*L2000*H450) ・ ベンチ (W250*L1800*H250)	高密度ポリエチレン材+鋼材									
	■	U-14	複合大型遊具	1機	・ 本体 (W2100*L6000*H600~2400)										
	□	U-15	複合大型遊具	1機	・ 本体 (W4500*D3500*H5500) ・ 滑り台A (W500*L5500) +B (W500*L4000)	■滑り台Bのみ撤去									
■	U-16	タ付埋め込み	8箇所	・ 古タイヤ再利用											
現北側遊び場	■	U-17	うんてい	1機	・ 本体 (W600*L2700*H1600) ・ 基礎 (450*450*L1000) 2箇所	スチール	□ : 構内移設を示す。(基礎・固定金物新設の事) 移設先: 配置図に図示 ■ : 解体撤去処分を示す。								
	□	U-18	時計付案内板	1機	1本体 (W900*D200*H2100)	電気設備に伴う移設									
	□	U-20	既存のまま: 複合遊具・きりん滑り台・うんてい滑り台・大形古タイヤ	各1機											



仕様表						
巻帳	1列	W10000×H4500 (両開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍ヒダ	巻帳用手動ロープ開閉装置	大型アルミレール
後幕(右側)	1列	W4000×H4500 (片開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍ヒダ	後幕用手引き開閉式	大型アルミレール
後幕(左側)	1列	W3600×H4500 (片開き)	舞台用難燃性起毛幕地	2倍ヒダ	後幕用手引き開閉式	大型アルミレール
美術パトロン	1式	L=5000	38V SUS (7' 電動昇降方式 (シャフトドライブ直巻上げ方式))	3%ワイヤー	3点吊	安全吊下げ荷重 30kg (均等荷重)
特記事項	天井下地、ボックス等は、建築工事とする。電気配線工事(電源及び操作線)及び舞台照明装置等は、電気工事とする。					

認定こども園 たかつき保育園 新築工事

建 築				構 造				電 気 設 備				機 械 設 備			
No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	
	A-00	表紙・図面リスト		A-24	展開図2		S-01	特記仕様書1		E-01	特記仕様書		M-01	特記仕様書	
	A-01	特記仕様書1		A-25	展開図3		S-02	特記仕様書2		E-02	構内配電・通信線図		M-02	附近見取図・配置図	
	A-02	特記仕様書2		A-26	展開図4		S-03	特記仕様書3		E-03	高圧受変電設備単線結線図		M-03	機器明細表	
	A-03	特記仕様書3		A-27	展開図5		S-04	特記仕様書4		E-04	動力制御結線図		M-04	衛生機器表、機リスト	
	A-04	特記仕様書4		A-28	家具リスト・サインリスト		S-05	基礎伏図		E-05	動力制御回路図 (1)		M-05	1階平面図 (給排水)	
	A-05	特記仕様書5		A-29	部分詳細図		S-06	屋根伏図		E-06	動力制御回路図 (2)		M-06	平面詳細図No.1	
	A-06	現況図・附近見取図		A-30	厨房平面図・機器リスト・詳細図		S-07	軸組図-1		E-07	動力・換気配線図		M-07	平面詳細図No.2	
	A-07	配置図		A-31	屋外付帯図 詳細図		S-08	軸組図-2		E-08	電灯分電盤結線図		M-08	1階平面図 (空調-配管)	
	A-08	仕上表1		A-32	仮設計画図		S-09	軸組図-3		E-09	電灯制御回路図		M-09	1階平面図 (空調-ダクト)	
	A-09	仕上表2 面積表 法フェックリスト		A-33	遊具移設撤去図		S-10	軸組図-4		E-10	照明器具姿図表		M-10	制気口リスト	
	A-10	1階平面図 2階平面図 屋根伏図		A-34	舞台設備図		S-11	鉄骨詳細図1		E-11	電灯配線図		M-11	排水切り直し図	
	A-11	立面図					S-12	鉄骨詳細図2		E-12	非常照明・誘導灯配線図				
	A-12	断面図					S-13	鉄骨詳細図3		E-13	コンセント配線図				
	A-13	矩計図								E-14	弱電機器姿図表 (1)				
	A-14	断面詳細図1								E-15	弱電機器姿図表 (2)				
	A-15	断面詳細図2								E-16	電話・LAN・インターホン・TV共聴・トイレ呼出配線図				
	A-16	平面詳細図1								E-17	拡声配線図				
	A-17	平面詳細図2								E-18	遊戯室音響機器姿図表				
	A-18	天井伏図・キープラン図								E-19	自動火災報知系統図				
	A-19	建具表1								E-20	自動火災報知配線図				
	A-20	建具表2								E-21	仮設構内図				
	A-21	建具表3													
	A-22	建具表4・機リスト													
	A-23	展開図1													
					既存図 (解体撤去参考図)										

仕 様 書																																																																							
1 工事概要																																																																							
1. 工事名称	認定こども園 たかつき保育園 新築工事																																																																						
2. 工事場所	<table border="1"> <tr> <td>地名</td> <td>富山県滑川市高月町2番地</td> <td>敷地面積</td> <td>4,836.83</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>都市計画区域</td> <td>◎内 (◎市街化区域 ・市街化調整区域 ◎区域区分非設定)</td> <td>・外</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途地域</td> <td>第2種中層住居専用地域</td> <td>防火地域</td> <td>指定なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄骨 造</td> <td>階数</td> <td>2</td> <td>階建</td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>868.90</td> <td>m²</td> <td>延べ面積</td> <td>902.07</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>屋根仕上</td> <td>ケラダケの鋼板0.4</td> <td>立平葺き</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外壁仕上</td> <td>・金属製珪 質 張り ・内外装薄塗材にて仕上</td> <td>・中空押出成形珪 質板張り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高高さ</td> <td>8.723</td> <td>m</td> <td>最高軒高さ</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>居室床高さ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>基礎形式</td> <td>(構造特記による)</td> <td>地盤の設計長期許容支持力</td> <td>(構造特記による)</td> <td>KN/cm</td> </tr> <tr> <td>耐震安全性の重要度係数</td> <td></td> <td></td> <td>(構造特記による)</td> <td></td> </tr> </table>	地名	富山県滑川市高月町2番地	敷地面積	4,836.83	m ²	都市計画区域	◎内 (◎市街化区域 ・市街化調整区域 ◎区域区分非設定)	・外			用途地域	第2種中層住居専用地域	防火地域	指定なし		構造	鉄骨 造	階数	2	階建	建築面積	868.90	m ²	延べ面積	902.07					m ²	屋根仕上	ケラダケの鋼板0.4	立平葺き			外壁仕上	・金属製珪 質 張り ・内外装薄塗材にて仕上	・中空押出成形珪 質板張り			最高高さ	8.723	m	最高軒高さ	4.0				居室床高さ						m					m	基礎形式	(構造特記による)	地盤の設計長期許容支持力	(構造特記による)	KN/cm	耐震安全性の重要度係数			(構造特記による)	
地名	富山県滑川市高月町2番地	敷地面積	4,836.83	m ²																																																																			
都市計画区域	◎内 (◎市街化区域 ・市街化調整区域 ◎区域区分非設定)	・外																																																																					
用途地域	第2種中層住居専用地域	防火地域	指定なし																																																																				
構造	鉄骨 造	階数	2	階建																																																																			
建築面積	868.90	m ²	延べ面積	902.07																																																																			
				m ²																																																																			
屋根仕上	ケラダケの鋼板0.4	立平葺き																																																																					
外壁仕上	・金属製珪 質 張り ・内外装薄塗材にて仕上	・中空押出成形珪 質板張り																																																																					
最高高さ	8.723	m	最高軒高さ	4.0																																																																			
			居室床高さ																																																																				
				m																																																																			
				m																																																																			
基礎形式	(構造特記による)	地盤の設計長期許容支持力	(構造特記による)	KN/cm																																																																			
耐震安全性の重要度係数			(構造特記による)																																																																				
4. 工事範囲	<p>○本体工事：建築・電気・機械(給排水・空調)・厨房</p> <p>○解体撤去工事：既存圍合・物置・遊具類</p> <p>○移設工事：遊具移設・樹木移設・物置移設</p>																																																																						

II 建築工事仕様	
1. 共通仕様	
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官庁官庁官制編定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」(以下「標準」という。)による。	
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、各々の工事仕様書を採用する。	
2. 特記仕様	
(1) 特記事項は、番号に○印の付いたものを適用する。	
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。	
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。	
(3) 特記事項に記載の(. . .) 内表示番号は標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
(4) 特記事項に記載の(別図 - . . .) は標準仕様の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。	
(5) 特記仕様書に記載の(別図2 - . . .) は「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成19年版」(以下「平成19年版」という。)の「別図2 ポルト間隔及び溶接継手の間隔形状」の当該項目を示す。	
(6) 特記事項に記載の(. . .) 内表示番号は国土交通省大臣官庁官庁官制編定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」(以下「改修標準」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
(7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。() 内は製品名等を示す。	

章	項 目	特 記 事 項													
① 一般共事事項	① 通用基準等	<p>※ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁官制編定標準仕様書 平成22年版)</p> <p>※ 工事写真の撮り方 建築編(国土交通省大臣官庁官制編定標準仕様書 平成24年版) ・同解説(公共建築編編集)</p> <p>※ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官庁官制編定標準仕様書(平成18年版)</p> <p>・ IS9901適用 建築工事施工管理要領(公共建築協会)</p> <p>※ 適用する (「工事カルテ受領書」の写しを提出)</p>													
	② 工事実績情報の登録	(1.1.4)													
	③ 品質計画等	<p>建築基準法に基づき指定する条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の区分に応じた風速 (V0(m/sec)) ・ 3.0 ・ 3.2 ・地表粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地帯の指定 積雪区分 建造物第1455号 別表 () 													
	④ 電気保安技術者	※ 適用する (1.3.3)													
	⑤ 施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等 (1.3.5)													
	⑥ 発生地の処理等	<p>・ 現場説明書による ※ 構外搬出適切処理 (1.3.8)</p> <p>・ 運搬、処分委託契約書の写しの提出 ()</p> <p>・ 引渡しを要するもの ()</p> <p>・ 再利用を図るもの ()</p> <p>・ 再資源化を図るもの ()</p> <p>・ 特別管理産業廃棄物の種類 ()</p> <p>・ 同上処理方法 ()</p>													
	⑦ 建築材料等	<p>※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。但し、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。また、品質が同等以上であり価格が適正である場合は、以下のものを優先使用する。</p> <p>※ 県内地場産品</p> <p>※ 富山市グリーン購入調達方針に定めるもの</p> <p>・ 本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>品目</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。</p> <p>※ 公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針に基づくグループ区分一覧は、富山県のホームページを参照すること。</p> <p>[URL:http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/k/00001978.html]</p> <p>・ 本工事は、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として、下記の製品を利用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>品目</th> <th>規格</th> <th>製品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工種	品目	規格				工種	品目	規格	製品名			
工種	品目	規格													
工種	品目	規格	製品名												
⑧ 環境への配慮	揮発性有機化合物を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし次の1) から5) の事項を満たすものとする。														

⑨ 材料の品質等	1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。																																								
	2) 保胎材、破断材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。																																								
	3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシンを含有しない揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。																																								
	4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。																																								
	5) 1) 、 3) 及び4) の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の仕器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。																																								
	また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。																																								
	規制対象外																																								
	① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品																																								
	② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																																								
	③ 下記表示のある J A S 規格品																																								
	a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用																																								
	b. 接着剤等不使用																																								
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用																																									
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																																									
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用																																									
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																																									
第三種																																									
① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品																																									
② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品																																									
③ 旧 J I S の E o 規格品																																									
④ 旧 J A S の F e o 規格品																																									
アスベスト含有建材																																									
「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行令について」(厚生労働省労働基準局長通達 平成18年8月11日 基発第0811002号)に基づき、本工事に使用する材料については、アスベスト含有建材を使用しないこと。																																									
化学物質等安全データシート(MSDS)等ににより確認した場合は、その写しを監督職員に提出すること。																																									
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次の1) から6) の事項を満たすものとする。																																									
1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。																																									
2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。																																									
3) 安定的な供給が可能であること。																																									
4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。																																									
5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。																																									
6) 販売保守等の営業体制が整えられていること。																																									
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出し承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。																																									
また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等以上を使用するものとし、同等以上を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。																																									
素材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。																																									
標準に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造者の指定する工法とする。																																									
⑩ 特別な材料の工法																																									
⑪ 技能士 (1.5.2)																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通用工事種別</th> <th>技能検定の職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>◎とび</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>◎鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>◎型枠施工 ◎コンクリート圧送施工</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>◎とび ◎鉄工</td> </tr> <tr> <td>ブロックALC工事</td> <td>◎ブロック建築</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・7774防水工事作業 ・合成樹脂系防水工事作業 ・塩化ビニル系防水工事作業 ・7796系塗膜防水工事作業 ・改質7774シート工法防水工事作業 ◎シ-17防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>◎石材施工(石張り施工)</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>◎タイル張り</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>◎建築大工</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>◎建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>◎内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>◎左官</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>◎サッシ施工 ◎ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・カーテンウォール施工 ・ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>◎塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>◎建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・造園</td> </tr> <tr> <td>解体工事</td> <td>◎解体工事施工士</td> </tr> </tbody> </table>	通用工事種別	技能検定の職種	仮設工事	◎とび	鉄筋工事	◎鉄筋施工(鉄筋組立作業)	コンクリート工事	◎型枠施工 ◎コンクリート圧送施工	鉄骨工事	◎とび ◎鉄工	ブロックALC工事	◎ブロック建築	防水工事	・7774防水工事作業 ・合成樹脂系防水工事作業 ・塩化ビニル系防水工事作業 ・7796系塗膜防水工事作業 ・改質7774シート工法防水工事作業 ◎シ-17防水工事作業	石工事	◎石材施工(石張り施工)	タイル工事	◎タイル張り	木工事	◎建築大工	屋根及びとい工事	◎建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工	金属工事	◎内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)	左官工事	◎左官	建具工事	◎サッシ施工 ◎ガラス施工	カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・ガラス施工	塗装工事	◎塗装(建築塗装作業)	内装工事	◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)	排水工事	◎建築配管作業	舗装工事	・造園	解体工事	◎解体工事施工士
通用工事種別	技能検定の職種																																								
仮設工事	◎とび																																								
鉄筋工事	◎鉄筋施工(鉄筋組立作業)																																								
コンクリート工事	◎型枠施工 ◎コンクリート圧送施工																																								
鉄骨工事	◎とび ◎鉄工																																								
ブロックALC工事	◎ブロック建築																																								
防水工事	・7774防水工事作業 ・合成樹脂系防水工事作業 ・塩化ビニル系防水工事作業 ・7796系塗膜防水工事作業 ・改質7774シート工法防水工事作業 ◎シ-17防水工事作業																																								
石工事	◎石材施工(石張り施工)																																								
タイル工事	◎タイル張り																																								
木工事	◎建築大工																																								
屋根及びとい工事	◎建築板金(内外装板金作業) ・スレート施工																																								
金属工事	◎内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)																																								
左官工事	◎左官																																								
建具工事	◎サッシ施工 ◎ガラス施工																																								
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・ガラス施工																																								
塗装工事	◎塗装(建築塗装作業)																																								
内装工事	◎プラスチック系床仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)																																								
排水工事	◎建築配管作業																																								
舗装工事	・造園																																								
解体工事	◎解体工事施工士																																								
12 技術検査	※富山市建設請負工事監督要領による。 (1.6.2)																																								
⑬ 化学物質の濃度測定	<p>施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を提出する。</p> <p>室内濃度測定対象物質</p> <p>※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン</p> <p>※パラジクロロベンゼン(学校施設について測定)</p> <p>・フタル酸ジ-n-ブチル ・アセトアルデヒド</p> <p>測定する室 : 乳児室(ほふく室)、保育室(2歳児)、保育室(4歳児)、遊戯室、病児後保育室 計5室</p> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド</th> <th>その他の揮発性有機化合物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジニトロフェニルトリドラン</td> <td>固相吸着/溶媒抽出法</td> </tr> <tr> <td>誘導体固相吸着/溶媒抽出法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高速液体クロマトグラフ (HPLC)</td> <td>ガスクロマトグラフ法</td> </tr> </tbody> </table> <p>※採取法はパッシブ型採取機器により行う。</p>	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド	その他の揮発性有機化合物	ジニトロフェニルトリドラン	固相吸着/溶媒抽出法	誘導体固相吸着/溶媒抽出法		高速液体クロマトグラフ (HPLC)	ガスクロマトグラフ法																																
ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド	その他の揮発性有機化合物																																								
ジニトロフェニルトリドラン	固相吸着/溶媒抽出法																																								
誘導体固相吸着/溶媒抽出法																																									
高速液体クロマトグラフ (HPLC)	ガスクロマトグラフ法																																								
⑭ 完成図等	<p>※ 着工製本 2部 ・原図版 2部 ・縮小版 A3版 3部 (1.7.1-1.7.3) (表1.7.1)</p> <p>※ 完成図製本(黒表紙) ・原図版 1部 ・縮小版 A3版 2部</p> <p>・ 施工図 ※工事写真 ・保令に関する資料</p>																																								
⑮ 工事写真	<table border="1"> <thead> <tr> <th>撮影時</th> <th>規 格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>・1版程度(3枚/頁)</td> <td>適正数</td> <td>1部</td> <td>デジタルカメラは130万~300万画素</td> </tr> <tr> <td>施工中</td> <td>・サムネール版</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td>※1版程度(3枚/頁)</td> <td>適正数</td> <td>1部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 竣工写真 2部(50x75内外)黒表紙・金文字</p>	撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考	着工前	・1版程度(3枚/頁)	適正数	1部	デジタルカメラは130万~300万画素	施工中	・サムネール版				完成時	※1版程度(3枚/頁)	適正数	1部																					
撮影時	規 格	撮影箇所数	部数	備考																																					
着工前	・1版程度(3枚/頁)	適正数	1部	デジタルカメラは130万~300万画素																																					
施工中	・サムネール版																																								
完成時	※1版程度(3枚/頁)	適正数	1部																																						

⑯ 施工写真	⑯ 施工図等の取扱い	<p>施工図等の著作権に係る当該建築物に使用した図等は、発注者に移譲するものとする。</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>※ 図示 ・ 設計G L = 現況G L</p>																								
	19 電子納品	<p>以下に示す書類を電子納品する。</p> <p>・ 工事写真 ※完成図(CADデータ(J W W ・ T I F Fデータ))</p>																								
	⑳ 調査・試験に対する協力	<p>公共工事労働費調査等の対象工事となった場合は、監督員の指示により必要な協力をしなければならない。(富山県土木工事共通仕様書1-1-13)</p> <p>・ 再資源利用計画書等作成及び提出(電子データ)</p> <p>・ 建築リサイクル法対象工事</p> <p>・ 特定建設資材廃棄物の種類：</p> <p>・ 再資源化施設の場合：</p> <p>※下記の建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。</p> <p>バックホウ、トラクタショベル、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット類(油圧ハンマー、アースオーガ、アースドリル等)、ローラ類、ホイールクレーン等でエンジン出力7.5kW以上26kW以下のもの。</p> <p>本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。「富山県土木工事共通仕様書」1-1-48個人情報取扱特記事項による。</p> <p>受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山市請負工事成績評価要領」に定める様式により提出することができる。</p> <p>受注者は、本工事の基礎工事、杭工事等による、地盤振動、沈下、軟弱化等より生じた、工事区域に隣接する地上構造物に対する賠償責任を含む第三者賠償責任保険に加入しなければならない。</p>																								
	㉑ 解体工事等																									
	㉒ 施工機械																									
	㉓ 下請関係の適正化																									
	㉔ 個人情報取扱い																									
	㉕ 高度技術・創意工夫社会性の実施																									
	㉖ 第三者賠償責任保険																									
	⑰ 足場その他 (2.2.4)																									
	⑱ 仮設工事																									
	⑳ 監督職員事務所 (2.3.1)																									
㉑ 工事用水	<p>構内既存の施設 ※ 利用できない</p> <p>・ 利用できる(※有償 ・ 無償)</p>																									
㉒ 工事用電力	<p>構内既存の施設 ※ 利用できない</p> <p>・ 利用できる(※有償 ・ 無償)</p>																									
㉓ 土工工事																										
⑳ 土工事																										
㉑ 埋戻し、及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</p>																									
㉒ 建設発生土の処理 (3.2.5)	<p>◎ 現場内で処理</p> <p>・ 構内指示の場所に堆積</p> <p>◎ 構内指示の場所に敷き均し</p> <p>・ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。</p> <p>なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。</p> <p>構外指定場所に搬出後 ※堆積 ・ 敷き均し</p> <p>・ 受入場所：</p> <p>受入時間帯： 時 分 ~ 時 分</p> <p>仮置き等：</p> <p>搬出調査を監督職員に提出する</p>																									
3 山留めの位置 (3.3.3)	<p>位置範囲 (・ 図示 ・)</p>																									
⑳ 地業工事	① 杭の載荷試験 (4.2.3)	<p>・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験</p> <p>(試験の方法等は国土交通省監修「敷地調査共通仕様書」による)</p>																								
	② 地盤の載荷試験 (4.2.4)	<p>試験位置(場所)・図示 試験深さ(m)・設計6.1より()m</p> <p>試験対象土質() 最大荷重()KN</p> <p>(試験の方法等は国土交通省監修「敷地調査共通仕様書」4章9節による)</p>																								
	③ 既設コンクリート杭地業 (4.3.1) (4.3.3~4.3.5)	<p>施工法</p> <p>・ 打込み工法 ・ セメントミルク工法 ・ 特定埋込杭工法</p> <p>・ 特定埋込杭工法(建築基準法に基づくもの)</p> <p>種類 (4.3.2) (表4.3.1)</p> <p>・ 適心力高強度プレストレストコンクリート杭</p> <p>◎ 外殻鋼管付コンクリート杭</p> <p>・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭</p> <p>・ (建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径 径 (mm)</th> <th>杭 長 (m) 及び 種 別</th> <th>継 手 数</th> <th>セ ッ ト 数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>本 杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 杭検計書に依る</td> </tr> </tbody> </table>		径 径 (mm)	杭 長 (m) 及び 種 別	継 手 数	セ ッ ト 数	備 考	試験杭					—	本 杭					※ 杭検計書に依る						
		径 径 (mm)	杭 長 (m) 及び 種 別	継 手 数	セ ッ ト 数	備 考																				
	試験杭					—																				
	本 杭					※ 杭検計書に依る																				
	4 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1) (4.5.4)	<p>掘削工法</p> <p>・ アースドリル工法 (安定液使用 ・ 無水掘削)</p> <p>・ リバース工法</p> <p>・ オールケーシング工法(孔内の水脹 ・ 行方 ・ 行わない)</p> <p>・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法</p> <p>・ 拡底杭工法(※安定液使用 ・)</p> <p>コンクリートの種別及び設計基準強度 () 種かつ () N/mm²以上</p> <p>鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3)</p> <p>セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.4)</p> <p>孔壁測定 ・ 行方 () ・ 行わない ()</p>																								
	5 くいの水平方向位置ずれの精度 ()																									
	6 砂利地業に使用する砂利 (4.6.2)	<p>※再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込砕石</p>																								
	⑦ 床下防潮層 (4.6.5)	<p>施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)</p>																								
	㉑ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎SD295A</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>◎SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼び名(mm)	◎SD295A	※D16以下	◎SD345	※D19以上	・		・															
	種類の記号	呼び名(mm)																								
◎SD295A	※D16以下																									
◎SD345	※D19以上																									
・																										
・																										
㉒ 鉄筋の継手及び着定 (表5.3.2) (表5.3.3) 定着長さ (表5.3.4) 投影定着長さ (表5.3.5)	<p>呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・ 重巻継手 (5.3.4)</p> <p>最小かぶり厚さは10mm以上とする。</p> <p>・ 耐久性及び不適当な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>標準仕5.3.6.6の値に加える寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打直し面</td> <td>※10</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	標準仕5.3.6.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打直し面	※10																					
施工箇所	標準仕5.3.6.6の値に加える寸法(mm)																									
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打直し面	※10																									
㉓ 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)																										
㉔ 圧接完了後の試験 (5.4.9)	<p>※超音波探傷試験 ・ 引張試験</p>																									
㉕ 既設コンクリート杭の杭頭補強 (平成19年版標準仕様書1-1-1)	<p>・ A形 ※B形 ・ 図示</p>																									
㉖ 最上階柱頭補強 (別図-2.1)	<p>・ 行方(図示) ※行わない</p>																									
㉗ 帯筋 (別図-2.2)	<p>※H形(口は除く)</p>																									
㉘ 壁間口部の補強 (別図-4.4) (別表4.3) (別表4.4)	<p>一般壁 ・ A形 ※B形 ・ 図示 (別図-4.4) (別表4.3) (別表4.4)</p> <p>耐震壁 ※図示</p>																									
㉙ 梁貫通孔の補強形式 (別図-7.1~7.2) (別表7.1~7.3)	<p>補強形式 ※既設補強筋(監督職員の承諾によるもの)</p> <p>・ H形 ・ M H形 ・ M形</p>																									
㉚ 鋼筋吊上げフック (平成19年版標準仕様書1-7.3)	<p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>箇所数 (ヶ所)</p>																									
㉑ コンクリート工事	① コンクリートの使用部位による種類 (6.2.1)	<p>※普通コンクリート ・ 軽集コンクリート</p>																								
	2 コンクリートの使用材料施工条件、要求性能等による種類 (6.2.1) (6.11~6.15)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>種 類</th> <th>適用箇所</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 中層コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ マスコンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 無筋コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高炉セメントB種を用いる普通コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 流動化コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用	種 類	適用箇所	備 考	・ 中層コンクリート				・ マスコンクリート				・ 無筋コンクリート				・ 高炉セメントB種を用いる普通コンクリート				・ 流動化コンクリート			
	適用	種 類	適用箇所	備 考																						
	・ 中層コンクリート																									
	・ マスコンクリート																									
	・ 無筋コンクリート																									
	・ 高炉セメントB種を用いる普通コンクリート																									
	・ 流動化コンクリート																									
	③ 普通コンクリートの設計基準強度 (F _c) (6.2.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F_c (N/mm²)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 27</td> <td>建物躯体 ()</td> </tr> <tr> <td>※24</td> <td>建物躯体 ()</td> </tr> <tr> <td>※21</td> <td>基礎コンクリート、FCコンクリート</td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所	・ 27	建物躯体 ()	※24	建物躯体 ()	※21	基礎コンクリート、FCコンクリート																
	設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所																								
	・ 27	建物躯体 ()																								
	※24	建物躯体 ()																								
※21	基礎コンクリート、FCコンクリート																									
④ レディミキストコンクリートの類別 (6.4.1) (6.3.1) (表6.3.1)	<p>※I類 ・ II類</p> <p>JIS表示認定工場を対象として、改正工標準準化法(平成16年6月9日公布)に基づき別に登録された民間の第三者機関(登録認定機関)により認定を受けた工場(JISマーク表示認定工場)を含むものとする。</p>																									
⑤ 打直し仕上げ (6.2.5)	<p>種別 ・ A種 ※B種 ・ C種</p>																									
⑥ セメントの種類 (6.3.1)	<p>※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</p> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS B5210に示された規定の他、次の規定全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水和熱</th> <th>7d</th> <th>352d/g以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28d</td> <td>402d/g以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 高炉セメントB種 ()</p> <p>アルカリシカ反応性による区分</p> <p>・ A</p> <p>・ B (コンクリート中のアルカリ総量R(=3.0kg/m³))</p> <p>※監督員との協議による</p> <p>※混和剤(・A E剤 ・ A E減水剤 ・ 高性能A E減水剤) (6.3.1) (6.3.2)</p> <p>※混和剤 ()</p>	水和熱	7d	352d/g以下	28d	402d/g以下																				
水和熱	7d	352d/g以下																								
28d	402d/g以下																									
⑦ 骨材の品質 (6.3.1) (6.5.4)																										
⑧ 混和剤の種類 (6.3.1) (6.3.2)																										
⑨ 調査管理強度 (F _c +S) (6.3.2) (表6.3.2)	<p>予想平均気温による構造体強度補正値(S) ※標仕(表6.3.2)による。</p> <p>(表6.3.2) 構造体強度補正値(S)の標準値</p>																									
⑩ 型枠 (6.8.3)	<p>セメントの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>普通ポルトランドセメント</th> <th>混合セメントのA種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 8</td> </tr> <tr> <td>5 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 5</td> </tr> <tr> <td>1.1 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 1.1</td> </tr> <tr> <td>1.4 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 1.4</td> </tr> <tr> <td>1.3 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 1.3</td> </tr> <tr> <td>9 ≤ θ</td> <td>0 ≤ θ < 9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※合板(※12mm ・ mm) ・ 床型枠用鋼製デッキプレート ・ メッシュ型枠 (6.8.3)</p> <p>適用箇所及び品質等は19章17断熱材による (6.8.3)</p>	普通ポルトランドセメント	混合セメントのA種	8 ≤ θ	0 ≤ θ < 8	5 ≤ θ	0 ≤ θ < 5	1.1 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.1	1.4 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.4	1.3 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.3	9 ≤ θ	0 ≤ θ < 9	3	6									
普通ポルトランドセメント	混合セメントのA種																									
8 ≤ θ	0 ≤ θ < 8																									
5 ≤ θ	0 ≤ θ < 5																									
1.1 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.1																									
1.4 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.4																									
1.3 ≤ θ	0 ≤ θ < 1.3																									
9 ≤ θ	0 ≤ θ < 9																									
3	6																									
⑪ 断熱材兼型枠 (6.8.3)																										
⑫ コンクリート強度試験 (6.9.3)	<p>1回の試験の供試体の数は、調査管理強度の管理試験用、型枠取し時期決定用、構造体コンクリートの圧縮強度推定用、その他必要に応じて、それぞれ3個とする。</p> <p>適切な間隔をあけた3台の運搬車から、分けて試料を採取する。ただし、調査管理強度の管理試験用は、1台の運搬車の試料から3個の供試体を作成する。</p> <p>3台に分けて作製した供試体から、それぞれ1個ずつ3個を取り出し、1回の試験の供試体とする。</p> <p>ただし、調査管理強度用は、1台の運搬車から作製した3個の供試体、1回の試験の供試体とする。</p>																									

